

平成24年4月18日

三重県議会議長 山本 教和 様

氏 名 小林 正人



23年度政務調査費に係る収支報告について

三重県政務調査費の交付に関する条例第10条第1項（第3項）の規定により、
別紙のとおり23年度政務調査費収支報告書を提出します。

23100001

集計期間 平成23年05月01日 ～ 平成24年03月31日

平成23年度 政務調査費収支報告書 (個人分)

氏名 小林正人

1 収入
政務調査費 ¥1,980,000円

2 支出 (単位：円)

項 目	支出額	内 訳	備 考
調査研究費	¥27,600	旅費 ¥27,600	
		需用費 ¥0	
		委託料 ¥0	
		負担金 ¥0	
		その他 ¥0	
研修費	¥0	旅費 ¥0	
		負担金 ¥0	
		その他 ¥0	
会議費	¥0	旅費 ¥0	
		需用費 ¥0	
		使用料 ¥0	
		その他 ¥0	
資料作成費	¥0	需用費 ¥0	
		手数料 ¥0	
		その他 ¥0	
資料購入費	¥18,570	図書購入費 ¥0	
		その他資料購入費 ¥18,570	
広報費	¥1,258,112	旅費 ¥0	
		需用費 ¥997,500	
		通信運搬費 ¥260,612	
		その他 ¥0	
事務所費	¥333,057	賃借料 ¥291,500	
		管理運営費 ¥41,557	
		その他 ¥0	
事務費	¥111,693	需用費 ¥0	
		通信運搬費 ¥111,693	
		その他 ¥0	
人件費	¥368,500	人件費 ¥368,500	
合 計	¥2,117,532		

3 残余 ¥-137,532円

23100002

23年調査研究活動の実施概要報告書

会派（議員）名 小林 正人

調査研究活動の主な内容、成果等

今年度は主に地元に関する諸問題に現地赶赴きその調査をいたしました。中でも特に、ハード面においては震災の関係から鈴鹿市の沿岸部を中心に堤防や離岸堤など老朽箇所
の早期整備を目指し現地の調査に何度か足を運びました。又近い将来この地域にも必ず
おこりえる東海、東南海、南海沖地震が発生したときの対策として、避難場所の見直し
や、ライフラインの確保等の問題にも地域の方々と共に意見交換や現地調査にいきまし
た。特に電気関係、再生可能なクリーンエネルギー、太陽光発電や風力発電等地元の企
業と行政が連携をとれるような取組みにも力をいれてきました。又道路関係においては
23号、1号線という主要国道が限界に達している為、その代替道路の役割を果すような
幹線道路の整備促進や、又地域の信号機や横断歩道の整備等かなり要望箇所が多く事故
多発箇所については何度となく現場を確認にいきました。次に他の分野では特に私立保
育園の環境整備や障がい者施設、或いは雇用促進等、又私学教育にも各学校や集会所等
でその調査研究にはげみました。特に障がい者の雇用問題や将来の問題については特養
や授産施設と連携をとり受け入れ態勢をつくれないものか、生涯の安心の確保の為に
いろいろな意見交換もおこないました。保育所整備においては、国の安心こども基金の継
続で施設整備の優先順位のあり方や、各園をまわり自分の目で、今一番最優先に取組ま
なくてはならない園はどこなのか、と言う事について何度となく市や県とも話調査をい
たしました、又保育事業の補助に関しても、特別保育の充実や、障がい児保育、アレル
ギー対策等県や市に対して新しい補助メニューをつくってもらえるよう実務者の方とも
協議を重ねてまいりました。私学教育においては、公教育を担う一翼として本当に役割
を果しているのか、その教育内容や就職活動等現地に行き実態を把握することができま
した。次に今年度は動物愛護（いのちの大切さ）の問題に多く取組み、会派でも熊本市
の動物愛護センターに視察にいきましたし、獣医師会の先生や愛護団体NPO等何度とな
く勉強会や意見交換また現地調査にいきました。最終的には殺処分0を目指して県も取
組んでいただけるような方向性と、今ある小動物管理公社のリニューアルか新設近い将
来取組んでいただける事は確保できたのではと思います。又所属委員会の関係から教育
特に小、中学校教育のあり方や家庭環境又スポーツ等への取組みに対しても地域ぐるみ
で話し合い意見交換や各学校にも調査研究にまいりました。中でも教師と生徒のいろい
ろな面からのトラブルや、いじめ問題、ひきこもり等メンタル的な問題に関してはスク
ールカウンセラーの方の話や、保護者の方々ともいろいろな情報共有できたことは今後
の問題解決に大きく役立てることができると思います。他では毎年発行している県政リ
ポートも年間で3回（約4万部）新聞おり込みで県民の方に特に予算関係の現状や新し
い政策、施策等情報を発信し、それに対していろいろと意見もいただく事ができました。
このような県民の声を今後も県政にとどけ、いかせればと思います。

以上

調查研究費

23100004

旅行者 職・氏名・印	三重県議会議員 小林正人 																																		
用途	県政報告並びに意見交換等調査																																		
調査日程 及び 調査先	平成 24 年 3 月 17 日 ~ 平成 24 年 3 月 17 日 三重 都・道・府・県 (郡) 鈴鹿 市・町・村 (調査先名称) 神戸地区集会所																																		
支出内訳	<table> <tr> <td>1 旅費</td> <td>3,360 円</td> </tr> <tr> <td>(運賃等1)</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(運賃等2)</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(運賃等3)</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(運賃等4)</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(自家用車使用</td> <td>30 円 × 12 km = 360 円)</td> </tr> <tr> <td>(宿泊費</td> <td>16,500 円 × 0 泊 = 0 円)</td> </tr> <tr> <td>(調査雑費</td> <td>3,000 円 × 1 日 = 3,000 円)</td> </tr> <tr> <td>(加減額1)</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(加減額2)</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(加減額3)</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>2 付随する経費</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>(参加費、資料代等</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(手土産代</td> <td>円 × 箇所 = 0 円)</td> </tr> <tr> <td>(その他1</td> <td>) 0 円)</td> </tr> <tr> <td>(その他2</td> <td>) 0 円)</td> </tr> <tr> <td>(その他3</td> <td>) 0 円)</td> </tr> </table>	1 旅費	3,360 円	(運賃等1)	0 円)	(運賃等2)	0 円)	(運賃等3)	0 円)	(運賃等4)	0 円)	(自家用車使用	30 円 × 12 km = 360 円)	(宿泊費	16,500 円 × 0 泊 = 0 円)	(調査雑費	3,000 円 × 1 日 = 3,000 円)	(加減額1)	0 円)	(加減額2)	0 円)	(加減額3)	0 円)	2 付随する経費	0 円	(参加費、資料代等	0 円)	(手土産代	円 × 箇所 = 0 円)	(その他1	) 0 円)	(その他2	) 0 円)	(その他3	) 0 円)
1 旅費	3,360 円																																		
(運賃等1)	0 円)																																		
(運賃等2)	0 円)																																		
(運賃等3)	0 円)																																		
(運賃等4)	0 円)																																		
(自家用車使用	30 円 × 12 km = 360 円)																																		
(宿泊費	16,500 円 × 0 泊 = 0 円)																																		
(調査雑費	3,000 円 × 1 日 = 3,000 円)																																		
(加減額1)	0 円)																																		
(加減額2)	0 円)																																		
(加減額3)	0 円)																																		
2 付随する経費	0 円																																		
(参加費、資料代等	0 円)																																		
(手土産代	円 × 箇所 = 0 円)																																		
(その他1	) 0 円)																																		
(その他2	) 0 円)																																		
(その他3	) 0 円)																																		

領収書No

23100005

旅行者 職・氏名・印	三重県議会議員 小林正人																																			
用途	地域諸問題に関する意見交換等調査																																			
調査日程 及び 調査先	平成 24 年 3 月 18 日 ~ 平成 24 年 3 月 18 日 三重 都・道・府・県 (郡) 鈴鹿 市・町・村 (調査先名称) 国府地区集会所、平田公会堂、稲生地区集会所																																			
支出内訳	<table> <tr> <td>1 旅費</td> <td>3,840 円</td> </tr> <tr> <td>(運賃等1)</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(運賃等2)</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(運賃等3)</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(運賃等4)</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(自家用車使用</td> <td>30 円 × 28 km = 840 円)</td> </tr> <tr> <td>(宿泊費</td> <td>16,500 円 × 0 泊 = 0 円)</td> </tr> <tr> <td>(調査雑費</td> <td>3,000 円 × 1 日 = 3,000 円)</td> </tr> <tr> <td>(加減額1)</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(加減額2)</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(加減額3)</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>2 付随する経費</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>(参加費、資料代等</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(手土産代</td> <td>円 × 箇所 = 0 円)</td> </tr> <tr> <td>(その他1</td> <td>) 0 円)</td> </tr> <tr> <td>(その他2</td> <td>) 0 円)</td> </tr> <tr> <td>(その他3</td> <td>) 0 円)</td> </tr> </table>		1 旅費	3,840 円	(運賃等1)	0 円)	(運賃等2)	0 円)	(運賃等3)	0 円)	(運賃等4)	0 円)	(自家用車使用	30 円 × 28 km = 840 円)	(宿泊費	16,500 円 × 0 泊 = 0 円)	(調査雑費	3,000 円 × 1 日 = 3,000 円)	(加減額1)	0 円)	(加減額2)	0 円)	(加減額3)	0 円)	2 付随する経費	0 円	(参加費、資料代等	0 円)	(手土産代	円 × 箇所 = 0 円)	(その他1	) 0 円)	(その他2	) 0 円)	(その他3	) 0 円)
1 旅費	3,840 円																																			
(運賃等1)	0 円)																																			
(運賃等2)	0 円)																																			
(運賃等3)	0 円)																																			
(運賃等4)	0 円)																																			
(自家用車使用	30 円 × 28 km = 840 円)																																			
(宿泊費	16,500 円 × 0 泊 = 0 円)																																			
(調査雑費	3,000 円 × 1 日 = 3,000 円)																																			
(加減額1)	0 円)																																			
(加減額2)	0 円)																																			
(加減額3)	0 円)																																			
2 付随する経費	0 円																																			
(参加費、資料代等	0 円)																																			
(手土産代	円 × 箇所 = 0 円)																																			
(その他1	) 0 円)																																			
(その他2	) 0 円)																																			
(その他3	) 0 円)																																			

領収書No

旅行者 職・氏名・印	三重県議会議員 小林正人																																			
用途	避難所要望箇所現地調査																																			
調査日程 及び 調査先	平成 24 年 3 月 20 日 ~ 平成 24 年 3 月 20 日 三重 都・道・府・県 (郡) 鈴鹿 市・町・村 (調査先名称) 白子漁港																																			
支出内訳	<table> <tr> <td>1 旅費</td> <td>3,390 円</td> </tr> <tr> <td>(運賃等1)</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(運賃等2)</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(運賃等3)</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(運賃等4)</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(自家用車使用</td> <td>30 円 × 13 km = 390 円)</td> </tr> <tr> <td>(宿泊費</td> <td>16,500 円 × 0 泊 = 0 円)</td> </tr> <tr> <td>(調査雑費</td> <td>3,000 円 × 1 日 = 3,000 円)</td> </tr> <tr> <td>(加減額1)</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(加減額2)</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(加減額3)</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>2 付随する経費</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>(参加費、資料代等</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(手土産代</td> <td>円 × 箇所 = 0 円)</td> </tr> <tr> <td>(その他1</td> <td>) 0 円)</td> </tr> <tr> <td>(その他2</td> <td>) 0 円)</td> </tr> <tr> <td>(その他3</td> <td>) 0 円)</td> </tr> </table>		1 旅費	3,390 円	(運賃等1)	0 円)	(運賃等2)	0 円)	(運賃等3)	0 円)	(運賃等4)	0 円)	(自家用車使用	30 円 × 13 km = 390 円)	(宿泊費	16,500 円 × 0 泊 = 0 円)	(調査雑費	3,000 円 × 1 日 = 3,000 円)	(加減額1)	0 円)	(加減額2)	0 円)	(加減額3)	0 円)	2 付随する経費	0 円	(参加費、資料代等	0 円)	(手土産代	円 × 箇所 = 0 円)	(その他1	) 0 円)	(その他2	) 0 円)	(その他3	) 0 円)
1 旅費	3,390 円																																			
(運賃等1)	0 円)																																			
(運賃等2)	0 円)																																			
(運賃等3)	0 円)																																			
(運賃等4)	0 円)																																			
(自家用車使用	30 円 × 13 km = 390 円)																																			
(宿泊費	16,500 円 × 0 泊 = 0 円)																																			
(調査雑費	3,000 円 × 1 日 = 3,000 円)																																			
(加減額1)	0 円)																																			
(加減額2)	0 円)																																			
(加減額3)	0 円)																																			
2 付随する経費	0 円																																			
(参加費、資料代等	0 円)																																			
(手土産代	円 × 箇所 = 0 円)																																			
(その他1	) 0 円)																																			
(その他2	) 0 円)																																			
(その他3	) 0 円)																																			

領収書No

23100007

旅行者 職・氏名・印	三重県議会議員 小林正人  (印)																																		
用途	私学問題に関する調査																																		
調査日程 及び 調査先	平成 24 年 3 月 21 日 ~ 平成 24 年 3 月 21 日 三重 都・道・府・県 (郡) 鈴鹿 市・町・村 (調査先名称) 鈴鹿高校 市役所																																		
支出内訳	<table> <tr> <td>1 旅費</td> <td>3,480 円</td> </tr> <tr> <td>(運賃等1)</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(運賃等2)</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(運賃等3)</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(運賃等4)</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(自家用車使用</td> <td>30 円 × 16 km = 480 円)</td> </tr> <tr> <td>(宿泊費</td> <td>16,500 円 × 0 泊 = 0 円)</td> </tr> <tr> <td>(調査雑費</td> <td>3,000 円 × 1 日 = 3,000 円)</td> </tr> <tr> <td>(加減額1)</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(加減額2)</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(加減額3)</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>2 付随する経費</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>(参加費、資料代等</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(手土産代</td> <td>円 × 箇所 = 0 円)</td> </tr> <tr> <td>(その他1</td> <td>) 0 円)</td> </tr> <tr> <td>(その他2</td> <td>) 0 円)</td> </tr> <tr> <td>(その他3</td> <td>) 0 円)</td> </tr> </table>	1 旅費	3,480 円	(運賃等1)	0 円)	(運賃等2)	0 円)	(運賃等3)	0 円)	(運賃等4)	0 円)	(自家用車使用	30 円 × 16 km = 480 円)	(宿泊費	16,500 円 × 0 泊 = 0 円)	(調査雑費	3,000 円 × 1 日 = 3,000 円)	(加減額1)	0 円)	(加減額2)	0 円)	(加減額3)	0 円)	2 付随する経費	0 円	(参加費、資料代等	0 円)	(手土産代	円 × 箇所 = 0 円)	(その他1	) 0 円)	(その他2	) 0 円)	(その他3	) 0 円)
1 旅費	3,480 円																																		
(運賃等1)	0 円)																																		
(運賃等2)	0 円)																																		
(運賃等3)	0 円)																																		
(運賃等4)	0 円)																																		
(自家用車使用	30 円 × 16 km = 480 円)																																		
(宿泊費	16,500 円 × 0 泊 = 0 円)																																		
(調査雑費	3,000 円 × 1 日 = 3,000 円)																																		
(加減額1)	0 円)																																		
(加減額2)	0 円)																																		
(加減額3)	0 円)																																		
2 付随する経費	0 円																																		
(参加費、資料代等	0 円)																																		
(手土産代	円 × 箇所 = 0 円)																																		
(その他1	) 0 円)																																		
(その他2	) 0 円)																																		
(その他3	) 0 円)																																		

領収書No

23100008

旅行者 職・氏名・印	三重県議会議員 小林正人																																			
用途	障がい者作業所現地視察調査																																			
調査日程 及び 調査先	平成 24 年 3 月 22 日 ~ 平成 24 年 3 月 22 日 三重 都・道・府・県 (郡) 鈴鹿 市・町・村 (調査先名称) 寺家社会福祉会館																																			
支出内訳	<table><tr><td>1 旅費</td><td>3,360 円</td></tr><tr><td>(運賃等1)</td><td>0 円)</td></tr><tr><td>(運賃等2)</td><td>0 円)</td></tr><tr><td>(運賃等3)</td><td>0 円)</td></tr><tr><td>(運賃等4)</td><td>0 円)</td></tr><tr><td>(自家用車使用</td><td>30 円 × 12 km = 360 円)</td></tr><tr><td>(宿泊費</td><td>16,500 円 × 0 泊 = 0 円)</td></tr><tr><td>(調査雑費</td><td>3,000 円 × 1 日 = 3,000 円)</td></tr><tr><td>(加減額1</td><td>0 円)</td></tr><tr><td>(加減額2</td><td>0 円)</td></tr><tr><td>(加減額3</td><td>0 円)</td></tr><tr><td>2 付随する経費</td><td>0 円</td></tr><tr><td>(参加費、資料代等</td><td>0 円)</td></tr><tr><td>(手土産代</td><td>円 × (箇所 = 0 円)</td></tr><tr><td>(その他1</td><td>) 0 円)</td></tr><tr><td>(その他2</td><td>) 0 円)</td></tr><tr><td>(その他3</td><td>) 0 円)</td></tr></table>		1 旅費	3,360 円	(運賃等1)	0 円)	(運賃等2)	0 円)	(運賃等3)	0 円)	(運賃等4)	0 円)	(自家用車使用	30 円 × 12 km = 360 円)	(宿泊費	16,500 円 × 0 泊 = 0 円)	(調査雑費	3,000 円 × 1 日 = 3,000 円)	(加減額1	0 円)	(加減額2	0 円)	(加減額3	0 円)	2 付随する経費	0 円	(参加費、資料代等	0 円)	(手土産代	円 × (箇所 = 0 円)	(その他1	) 0 円)	(その他2	) 0 円)	(その他3	) 0 円)
1 旅費	3,360 円																																			
(運賃等1)	0 円)																																			
(運賃等2)	0 円)																																			
(運賃等3)	0 円)																																			
(運賃等4)	0 円)																																			
(自家用車使用	30 円 × 12 km = 360 円)																																			
(宿泊費	16,500 円 × 0 泊 = 0 円)																																			
(調査雑費	3,000 円 × 1 日 = 3,000 円)																																			
(加減額1	0 円)																																			
(加減額2	0 円)																																			
(加減額3	0 円)																																			
2 付随する経費	0 円																																			
(参加費、資料代等	0 円)																																			
(手土産代	円 × (箇所 = 0 円)																																			
(その他1	) 0 円)																																			
(その他2	) 0 円)																																			
(その他3	) 0 円)																																			

領収書No

23100009

旅行者 職・氏名・印	三重県議会議員 小林正人 																																		
用途	幼児教育、虐待問題についての調査研究																																		
調査日程 及び 調査先	平成 24 年 3 月 24 日 ~ 平成 24 年 3 月 24 日 三重 都・道・府・県 (郡) 鈴鹿 市・町・村 (調査先名称) サーキット内																																		
支出内訳	<table><tr><td>1 旅費</td><td>3,360 円</td></tr><tr><td>(運賃等1)</td><td>0 円)</td></tr><tr><td>(運賃等2)</td><td>0 円)</td></tr><tr><td>(運賃等3)</td><td>0 円)</td></tr><tr><td>(運賃等4)</td><td>0 円)</td></tr><tr><td>(自家用車使用</td><td>30 円 × 12 km = 360 円)</td></tr><tr><td>(宿泊費</td><td>16,500 円 × 0 泊 = 0 円)</td></tr><tr><td>(調査雑費</td><td>3,000 円 × 1 日 = 3,000 円)</td></tr><tr><td>(加減額1)</td><td>0 円)</td></tr><tr><td>(加減額2)</td><td>0 円)</td></tr><tr><td>(加減額3)</td><td>0 円)</td></tr><tr><td>2 付随する経費</td><td>0 円</td></tr><tr><td>(参加費、資料代等</td><td>0 円)</td></tr><tr><td>(手土産代</td><td>円 × 箇所 = 0 円)</td></tr><tr><td>(その他1</td><td>) 0 円)</td></tr><tr><td>(その他2</td><td>) 0 円)</td></tr><tr><td>(その他3</td><td>) 0 円)</td></tr></table>	1 旅費	3,360 円	(運賃等1)	0 円)	(運賃等2)	0 円)	(運賃等3)	0 円)	(運賃等4)	0 円)	(自家用車使用	30 円 × 12 km = 360 円)	(宿泊費	16,500 円 × 0 泊 = 0 円)	(調査雑費	3,000 円 × 1 日 = 3,000 円)	(加減額1)	0 円)	(加減額2)	0 円)	(加減額3)	0 円)	2 付随する経費	0 円	(参加費、資料代等	0 円)	(手土産代	円 × 箇所 = 0 円)	(その他1	) 0 円)	(その他2	) 0 円)	(その他3	) 0 円)
1 旅費	3,360 円																																		
(運賃等1)	0 円)																																		
(運賃等2)	0 円)																																		
(運賃等3)	0 円)																																		
(運賃等4)	0 円)																																		
(自家用車使用	30 円 × 12 km = 360 円)																																		
(宿泊費	16,500 円 × 0 泊 = 0 円)																																		
(調査雑費	3,000 円 × 1 日 = 3,000 円)																																		
(加減額1)	0 円)																																		
(加減額2)	0 円)																																		
(加減額3)	0 円)																																		
2 付随する経費	0 円																																		
(参加費、資料代等	0 円)																																		
(手土産代	円 × 箇所 = 0 円)																																		
(その他1	) 0 円)																																		
(その他2	) 0 円)																																		
(その他3	) 0 円)																																		

領収書No

23100016

旅行者 職・氏名・印	三重県議会議員 小林正人																																			
用途	私立保育教育の現状課題と現地調査																																			
調査日程 及び 調査先	平成 24 年 3 月 26 日 ~ 平成 24 年 3 月 26 日 三重 都・道・府・県 (郡) 鈴鹿 市・町・村 (調査先名称) 牧田地区保育所																																			
支出内訳	<table> <tr> <td>1 旅費</td> <td>3,360 円</td> </tr> <tr> <td>(運賃等1)</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(運賃等2)</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(運賃等3)</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(運賃等4)</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(自家用車使用</td> <td>30 円 × 12 km = 360 円)</td> </tr> <tr> <td>(宿泊費</td> <td>16,500 円 × 0 泊 = 0 円)</td> </tr> <tr> <td>(調査雑費</td> <td>3,000 円 × 1 日 = 3,000 円)</td> </tr> <tr> <td>(加減額1)</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(加減額2)</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(加減額3)</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>2 付随する経費</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>(参加費、資料代等</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(手土産代</td> <td>円 × 箇所 = 0 円)</td> </tr> <tr> <td>(その他1</td> <td>) 0 円)</td> </tr> <tr> <td>(その他2</td> <td>) 0 円)</td> </tr> <tr> <td>(その他3</td> <td>) 0 円)</td> </tr> </table>		1 旅費	3,360 円	(運賃等1)	0 円)	(運賃等2)	0 円)	(運賃等3)	0 円)	(運賃等4)	0 円)	(自家用車使用	30 円 × 12 km = 360 円)	(宿泊費	16,500 円 × 0 泊 = 0 円)	(調査雑費	3,000 円 × 1 日 = 3,000 円)	(加減額1)	0 円)	(加減額2)	0 円)	(加減額3)	0 円)	2 付随する経費	0 円	(参加費、資料代等	0 円)	(手土産代	円 × 箇所 = 0 円)	(その他1	) 0 円)	(その他2	) 0 円)	(その他3	) 0 円)
1 旅費	3,360 円																																			
(運賃等1)	0 円)																																			
(運賃等2)	0 円)																																			
(運賃等3)	0 円)																																			
(運賃等4)	0 円)																																			
(自家用車使用	30 円 × 12 km = 360 円)																																			
(宿泊費	16,500 円 × 0 泊 = 0 円)																																			
(調査雑費	3,000 円 × 1 日 = 3,000 円)																																			
(加減額1)	0 円)																																			
(加減額2)	0 円)																																			
(加減額3)	0 円)																																			
2 付随する経費	0 円																																			
(参加費、資料代等	0 円)																																			
(手土産代	円 × 箇所 = 0 円)																																			
(その他1	) 0 円)																																			
(その他2	) 0 円)																																			
(その他3	) 0 円)																																			

領収書No

23100011

旅行者 職・氏名・印	三重県議会議員 小林正人 																																		
用途	地域諸問題についての意見交換等調査																																		
調査日程 及び 調査先	平成 24 年 3 月 29 日 ~ 平成 24 年 3 月 29 日 三重 都・道・府・県 (郡) 鈴鹿 市・町・村 (調査先名称) 国府地区集会所																																		
支出内訳	<table> <tr> <td>1 旅費</td> <td>3,450 円</td> </tr> <tr> <td>(運賃等1)</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(運賃等2)</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(運賃等3)</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(運賃等4)</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(自家用車使用</td> <td>30 円 × 15 km = 450 円)</td> </tr> <tr> <td>(宿泊費</td> <td>16,500 円 × 0 泊 = 0 円)</td> </tr> <tr> <td>(調査雑費</td> <td>3,000 円 × 1 日 = 3,000 円)</td> </tr> <tr> <td>(加減額1)</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(加減額2)</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(加減額3)</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>2 付随する経費</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>(参加費、資料代等</td> <td>0 円)</td> </tr> <tr> <td>(手土産代</td> <td>円 × 箇所 = 0 円)</td> </tr> <tr> <td>(その他1</td> <td>) 0 円)</td> </tr> <tr> <td>(その他2</td> <td>) 0 円)</td> </tr> <tr> <td>(その他3</td> <td>) 0 円)</td> </tr> </table>	1 旅費	3,450 円	(運賃等1)	0 円)	(運賃等2)	0 円)	(運賃等3)	0 円)	(運賃等4)	0 円)	(自家用車使用	30 円 × 15 km = 450 円)	(宿泊費	16,500 円 × 0 泊 = 0 円)	(調査雑費	3,000 円 × 1 日 = 3,000 円)	(加減額1)	0 円)	(加減額2)	0 円)	(加減額3)	0 円)	2 付随する経費	0 円	(参加費、資料代等	0 円)	(手土産代	円 × 箇所 = 0 円)	(その他1	) 0 円)	(その他2	) 0 円)	(その他3	) 0 円)
1 旅費	3,450 円																																		
(運賃等1)	0 円)																																		
(運賃等2)	0 円)																																		
(運賃等3)	0 円)																																		
(運賃等4)	0 円)																																		
(自家用車使用	30 円 × 15 km = 450 円)																																		
(宿泊費	16,500 円 × 0 泊 = 0 円)																																		
(調査雑費	3,000 円 × 1 日 = 3,000 円)																																		
(加減額1)	0 円)																																		
(加減額2)	0 円)																																		
(加減額3)	0 円)																																		
2 付随する経費	0 円																																		
(参加費、資料代等	0 円)																																		
(手土産代	円 × 箇所 = 0 円)																																		
(その他1	) 0 円)																																		
(その他2	) 0 円)																																		
(その他3	) 0 円)																																		

領収書No

資料購入費

23100013

政務調査費入力

個人分

日付	平成 23 年 05 月 30 日				
使途項目 及び 支出科目	使途項目	支出科目			
	資料購入費	その他資料購入費			
使途用途	用途1	新聞購読料			3715 円
	用途2				0 円
	用途3				0 円
	用途4				0 円
	用途5				0 円
支出金額	使途用途合計	3715	×	50%	= 1857 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分				

23100014

政務調査費入力

個人分

日付	平成 23 年 06 月 30 日				
使途項目 及び 支出科目	使途項目 資料購入費	支出科目 その他資料購入費			
使途用途	用途1 新聞購読料				3715 円
	用途2				0 円
	用途3				0 円
	用途4				0 円
	用途5				0 円
支出金額	使途用途合計	3715	×	50% =	1857 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分				

23100015

政務調査費入力

個人分

日付	平成 23 年 07 月 29 日			
使途項目 及び 支出科目	使途項目 資料購入費	支出科目 その他資料購入費		
使途用途	用途1 新聞購読料			3715 円
	用途2			0 円
	用途3			0 円
	用途4			0 円
	用途5			0 円
支出金額	使途用途合計	3715	× 50% =	1857 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分			

23100016

政務調査費入力

個人分

日付	平成 23 年 08 月 31 日			
使途項目 及び 支出科目	使途項目 資料購入費	支出科目 その他資料購入費		
使途用途	用途1 新聞購読料			3715 円
	用途2			0 円
	用途3			0 円
	用途4			0 円
	用途5			0 円
支出金額	使途用途合計	3715	× 50% =	1857 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分			

23100017

政務調査費入力

個人分

日付	平成 23 年 09 月 30 日		
使途項目 及び 支出科目	使途項目 資料購入費	支出科目 その他資料購入費	
使途用途	用途1 新聞購読料		3715 円
	用途2		0 円
	用途3		0 円
	用途4		0 円
	用途5		0 円
支出金額	使途用途合計	3715 × 50% =	1857 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分		

23100018

政務調査費入力

個人分

日付	平成 23 年 10 月 31 日		
使途項目 及び 支出科目	使途項目 資料購入費	支出科目 その他資料購入費	
使途用途	用途1 新聞購読料		3715 円
	用途2		0 円
	用途3		0 円
	用途4		0 円
	用途5		0 円
支出金額	使途用途合計	3715 × 50% =	1857 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分		

23100019

政務調査費入力

個人分

日付	平成 23 年 11 月 29 日			
使途項目 及び 支出科目	使途項目 資料購入費	支出科目 その他資料購入費		
使途用途	用途1 新聞購読料			3715 円
	用途2			0 円
	用途3			0 円
	用途4			0 円
	用途5			0 円
支出金額	使途用途合計	3715	× 50% =	1857 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分			

23100020

政務調査費入力

個人分

日付	平成 23 年 12 月 29 日			
使途項目 及び 支出科目	使途項目 資料購入費	支出科目 その他資料購入費		
使途用途	用途1 新聞購読料			3715 円
	用途2			0 円
	用途3			0 円
	用途4			0 円
	用途5			0 円
支出金額	使途用途合計	3715	× 50% =	1857 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分			

23100021

政務調査費入力

個人分

日付	平成 24 年 01 月 31 日				
使途項目 及び 支出科目	使途項目 資料購入費	支出科目 その他資料購入費			
使途用途	用途1 新聞購読料				3715 円
	用途2				0 円
	用途3				0 円
	用途4				0 円
	用途5				0 円
支出金額	使途用途合計	3715	×	50%	= 1857 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分				

23100022

政務調査費入力

個人分

日付	平成 24 年 02 月 28 日				
使途項目 及び 支出科目	使途項目 資料購入費	支出科目 その他資料購入費			
使途用途	用途1 新聞購読料				3715 円
	用途2				0 円
	用途3				0 円
	用途4				0 円
	用途5				0 円
支出金額	使途用途合計	3715	×	50%	= 1857 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分				

23100023

新聞購読料 領 収 証

正人 様

ご購読ありがとうございます。
下記金額を正に領収いたしました。
2011年7月分

領収日 7月29日
領収金額 ¥3,715

品名	定価(税込)	部数	金額
聖教新聞	1,880	1	1,880

その他購読料等 領 収 証

品名	定価(税込)	部数	金額
公明新聞	1,835	1	1,835

伊藤 博文
四日市市波木町2120-1
TEL 059-320-4777 FAX 059-320-4778



お申込No. 24029-18861(582)

23100024

新聞購読料 領 収 証

小林 正人 様

ご購読ありがとうございます。
下記金額を正に領収いたしました。
2011年6月分

領収日 6月20日
領収金額 ¥3,715

品名	定価(税込)	部数	金額
聖教新聞	1,880	1	1,880

その他購読料等 領 収 証

品名	定価(税込)	部数	金額
公明新聞	1,835	1	1,835

伊藤 博文
四日市市波木町2120-1
TEL 059-320-4777 FAX 059-320-4778



お申込No. 24029-18861(582)

新聞購読料 領 収 証

小林 正人 様

ご購読ありがとうございます。
下記金額を正に領収いたしました。
2011年5月分

領収日 5月20日
領収金額 ¥3,715

品名	定価(税込)	部数	金額
聖教新聞	1,880	1	1,880

その他購読料等 領 収 証

品名	定価(税込)	部数	金額
公明新聞	1,835	1	1,835

伊藤 博文
四日市市波木町2120-1
TEL 059-320-4777 FAX 059-320-4778



お申込No. 24029-18861(582)

(資料購入費)
新用代

新聞購読料 領収証

小林 正人 様

ご購読ありがとうございます。

下記金額を正に領収いたしました。

2011年10月分 領収日 10月27日

領収金額 ￥3,715

品名	定価(税込)	部数	金額
聖教新聞	1,880	1	1,880

その他購読料等 領収証

品名	定価(税込)	部数	金額
公明新聞	1,835	1	1,835

販売店 伊藤 博文
 所 四日市市波木町2120-1
 TEL 059-320-4777 FAX 059-320-4778

お申込No. 24029-18861(582)



新聞購読料 領収証

小林 正人 様

ご購読ありがとうございます。

下記金額を正に領収いたしました。

2011年9月分 領収日 9月30日

領収金額 ￥3,715

品名	定価(税込)	部数	金額
聖教新聞	1,880	1	1,880

その他購読料等 領収証

品名	定価(税込)	部数	金額
公明新聞	1,835	1	1,835

販売店 伊藤 博文
 所 四日市市波木町2120-1
 TEL 059-320-4777 FAX 059-320-4778

お申込No. 24029-18861(582)



新聞購読料 領収証

小林 正人 様

ご購読ありがとうございます。

下記金額を正に領収いたしました。

2011年8月分 領収日 8月31日

領収金額 ￥3,715

品名	定価(税込)	部数	金額
聖教新聞	1,880	1	1,880

その他購読料等 領収証

品名	定価(税込)	部数	金額
公明新聞	1,835	1	1,835

販売店 伊藤 博文
 所 四日市市波木町2120-1
 TEL 059-320-4777 FAX 059-320-4778

お申込No. 24029-18861(582)



計 27,810

23100025

新聞購読料 領 収 証

小林 正人 様

ご購入ありがとうございます。
下記金額を正に領収いたしました。
2012 年 1 月分 領収日 / 月 / 日

領収金額 ¥3,715

品名	定価税込	部数	金額
聖教新聞	1,880	1	1,880

その他購読料等 領 収 証

品名	定価税込	部数	金額
公明新聞	1,835	1	1,835

販売店 伊藤 博文
四日市市波木町 2120-1
TEL 059-320-4777 FAX 059-320-4778

お申込No. 24029-18861(582)



新聞購読料 領 収 証

小林 正人 様

ご購入ありがとうございます。
下記金額を正に領収いたしました。
2011 年 12 月分 領収日 / 月 / 日

領収金額 ¥3,715

品名	定価税込	部数	金額
聖教新聞	1,880	1	1,880

その他購読料等 領 収 証

品名	定価税込	部数	金額
公明新聞	1,835	1	1,835

販売店 伊藤 博文
四日市市波木町 2120-1
TEL 059-320-4777 FAX 059-320-4778

お申込No. 24029-18861(582)



新聞購読料 領 収 証

小林 正人 様

ご購入ありがとうございます。
下記金額を正に領収いたしました。
2011 年 11 月分 領収日 / 月 / 日

領収金額 ¥3,715

品名	定価税込	部数	金額
聖教新聞	1,880	1	1,880

その他購読料等 領 収 証

品名	定価税込	部数	金額
公明新聞	1,835	1	1,835

販売店 伊藤 博文
四日市市波木町 2120-1
TEL 059-320-4777 FAX 059-320-4778

お申込No. 24029-18861(582)



23100026

新聞購読料 領収証

小林 正人 様

ご購入ありがとうございます。
下記金額を正に領収いたしました。
2012 年 2 月分 領収日 2 月 28 日

領収金額 ￥3,715

品名	定価	部数	金額
聖教新聞	1,880	1	1,880

その他購読料等 領収証

品名	定価	部数	金額
公明新聞	1,835	1	1,835

販売店 伊藤 博文
住所 四日市市波木町 2 1 2 0 - 1
TEL 059-320-4777 FAX 059-320-4778
お申込No. 24029-18861(582)



廣 報 費

23100028

政務調査費入力

個人分

日付	平成 23 年 07 月 11 日		
使途項目 及び 支出科目	使途項目 広報費	支出科目 需用費	
使途用途	用途1 県政リポート作成代 新聞折込料		350000 円
	用途2		0 円
	用途3		0 円
	用途4		0 円
	用途5		0 円
支出金額	使途用途合計	350000 × 95% =	332500 円
根拠	県政報告と個人写真等配分割合		

23100029

政務調査費入力

個人分

日付	平成 23 年 12 月 08 日		
使途項目 及び 支出科目	使途項目 広報費	支出科目 需用費	
使途用途	用途1 県政リポート作成代 新聞折込料		350000 円
	用途2		0 円
	用途3		0 円
	用途4		0 円
	用途5		0 円
支出金額	使途用途合計	350000 × 95% =	332500 円
根拠	県政報告と個人写真との割合		

23100036

政務調査費入力

個人分

日付	平成 24 年 03 月 23 日		
使途項目 及び 支出科目	使途項目 広報費	支出科目 需用費	
使途用途	用途1 県政リポート作成代 新聞折り込み料		350000 円
	用途2		0 円
	用途3		0 円
	用途4		0 円
	用途5		0 円
支出金額	使途用途合計	350000 × 95% =	332500 円
根拠	個人写真分との按分		

23100031

領 収 証

小林 正人

様 No. 33584

★ ¥350,000—

但 県政リポート代として

2012年 3月 23日 上記正に領収いたしました



内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

株式会社ファースト

〒513-0805 三重県鈴鹿市算所町1264-2

サンフラワービル3号 3F

TEL:059-378-8500 FAX:059-378-8500



領 収 証

小林 正人

様 No. 31152

★ ¥350,000—

但 県政リポート代として

2011年 12月 8日 上記正に領収いたしました



内 訳

税抜金額

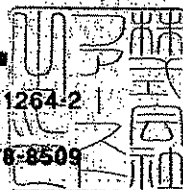
消費税額等(%)

株式会社ファースト

〒513-0805 三重県鈴鹿市算所町1264-2

サンフラワービル3号 3F

TEL:059-378-8500 FAX:059-378-8500



領 収 証

小林 正人

様 No. 26873

★ ¥350,000—

但 県政リポート代として

2011年 7月 11日 上記正に領収いたしました

23100032



内 訳

税抜金額

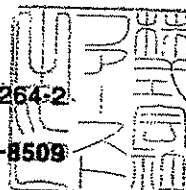
消費税額等(%)

株式会社ファースト

〒513-0805 三重県鈴鹿市算所町1264-2

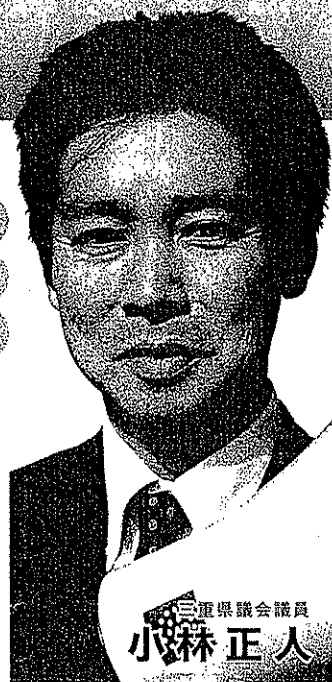
サンフラワービル3号 3F

TEL:059-378-8500 FAX:059-378-8500



三重県議会議員 小林正人 県政レポート

vol.13



三重県議会議員 小林正人

挨拶

この度、東日本大震災において大変な被害にあわれました方、また、不幸にもお亡くなりになりました方々に對し心からお見舞い申し上げます。今回のレポートで第13号となります。まず平成23年4月10日の統一地方選挙（県議選）で皆様のお力をおかりし2期目県議会議員として議会へ再度送りだしていただきましたことを心から御礼申し上げます。1期目同様できる限りこのレポートを通じて県政・県議会の現状等お伝えし、また、ご意見もいただけたら幸いに存じます。

さて、今回は教育警察常任委員長という大変重要なポストに就任させていただきました。いろいろな調査項目がある中で、今回は特に3・11の問題や近い将来この地域にも確実に起こるであろう大震災の対策として、防災教育や警察の災害時における初動体制等、また、今回の震災における復興支援等重点調査事業として取り組まさせていただきますと考えております。もちろん従来からの所管事項であった、例えば、基礎学力、体力の向上やキャリア教育の更なる推進、虐待、いじめ問題の根絶等、警察関係では今年の4月に施行されました暴行条例の啓発や交通事故防止対策、刑法犯の抑制や認知、検挙率のUP等にも取り組んで参りたいと思っております。また、予算面ではここ数年景気の悪化による財政難が続いておりますが、教育警察共に平成22年度とはほぼ横ばい状態となっております。しかし警察関係においては（約4000億）他の部局というふうな観点から比較すると私自身は少ないのではと感じますし、今後県民の安心安全の確保から関係事業の着実な推進に向けての予算確保に全力を尽くしていこうと思っております。このような議会での活動と共に地元対策にもこれまで以上に力を注いで参る所存でございます。今後ともどうかご指導賜りますようお願い申し上げます。今後はどうかご指導賜りますようお願い申し上げます。今後はどうかご指導賜りますようお願い申し上げます。今後はどうかご指導賜りますようお願い申し上げます。

県議会議員 小林正人

平成23年度三重県一般会計補正予算(第4号)

教育委員会関係分

(単位:千円)

事業名	補正前の額	補正額	補正後の額	内容
●教育総務費 事務局人件費	2,253,736	▲10,904	2,242,832	特別職、管理職員の特例的な給与の減額の実施に伴う減額
●教育総務費 災害から子どもを守る学校 家庭・地域連携推進事業費	—	19,237	19,237	「子ども防災ノート(仮称)」の作成、活用を通じ、学校と家庭や地域が連携して子どもを災害から守る取り組みを促進するための増額
●教育総務費 高度福祉系人材育成支援事業費	3,295	5,995	9,290	福祉分野への人材不足の解消と在校生の知識・技術の向上を目的として、県立高等学校の福祉関連学科等に関する情報提供及び専門的な講習を行うための増額
●教育総務費 被災児童生徒等就学支援事業費	—	11,342	11,342	東日本大震災の被災地から転入してきた児童生徒等の就学支援事業を実施する市町に対して補助を行うための増額
●特別支援学校費 特別支援学校就学奨励費	145,056	220	145,276	東日本大震災の被災地から転入してきた特別支援学級に在籍する児童生徒等の就学支援事業を実施する市町に対して補助を行うための増額

警察費関係分

事業名	補正前の額	補正額	補正後の額	内容
●警察管理費 給与費	31,333,464	△25,610	31,307,854	管理職の給与の削減等に伴う減額及び東日本大震災の被災地派遣に伴う警察官の超過勤務手当の増額に係る経費
●警察活動費 刑事警察活動費	271,095	43,568	314,663	捜査支援システムの端末の増設に係る経費
●警察活動費 地域安全確保総合対策費	597,968	25,517	623,485	安全な公共空間の確保や非行少年の立ち寄り規制に係る経費
●警察活動費 災害警備対策費	3,310	13,062	16,372	大規模災害発生時の電源確保に係る経費
●警察活動費 県単交通安全施設整備費	192,204	21,222	213,426	大規模災害発生時の交通信号機対策に係る経費

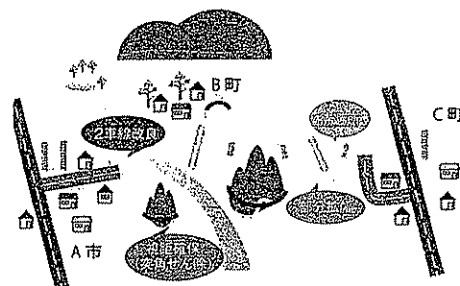
報告事項

三重県の道路整備に関する基本的な考え方が変わりました。

既にご存じの通り、県内の道路整備状況は改良率全国39位、高規格幹線道路の整備率は全国38位と依然低く、それに対し1世帯あたりの車保有率は2.01台と全国平均1.47台を大きく上回り、また、移動手段における車の分担率は94.7%と、こちらも全国平均77.9%を超えており、県内の幹線道路は渋滞が慢性化しております。こういった現状をとらえ、これまでの新道路整備戦略計画期間15年(5年後見直し)整備手法として新設拡幅を対象とした抜本的な改良を主に行ってきたものを、今回から道路整備方針として計画期間3年(毎年度更新)に、手法としてはこれまでの抜本的改良に加え柔軟な対応を繰り返し交ぜるという新しいものに変更になります。この事で大きく変わるのには道路整備に対する県民のニーズへの的確な対応ができる(地元要望箇所等整備効果のある道路の早期発見)ということです。

道路整備は観光振興、地域活性化、災害救急対策、環境対策、都市間の連携に有効です。

柔軟な整備手法の導入



トピックス TOPICS

先日NPO法人グリーンネット理事長の武藤さんとお話をする機会がありました。この団体は動物愛護を推進啓発することが主たる目的で活動されているそうです。まず始めに話になったのは、3.11の大震災。その被害を受けたのは人だけではなく多くの動物たちもその命を失い、また、これからただ命尽きるのを待つしかない状態にある動物たちもたくさん存在するという事実、少しでも救うことができたという話でした。1時間ぐらいの談話の中で、三重県の動物愛護の取組について、遅れているよね、というよりは本当に真剣に取り組んでいるのか!という話もありました。確かに県の総合ビジョンを見ても、健康福祉部、教育委員会の施策取組の中で、今後は動物との共存共生を推進...という記述が多々ある割にはいろいろな点で取組まれていることの方が多いと私も改めて認識をいたしました。確かにこういう話は動物が好きな人、一方で嫌いな方と意見、考え方があわないことは承知しておりますが、少なくとも今回の話の中で命の大切さは人であっても動物であっても同じであり(三重県では年間約4339頭の犬、猫が殺処分されている)双方があゆみよることによって少しでも早く問題が解決できるのではと考え、私も微力ではありますがその橋渡し的なことができればなと思っております。

以下、紙面の都合上掲載できなかったことも多々ありますので
詳しい情報やボランティア関係等はNPO法人グリーンネットに直接アクセスして下さい。

23100033

GreenNet

NPO法人グリーンネット

●お問合せ
〒510-0241
鈴鹿市白子駅前9-20 すずかのぶどう内
✉ d-kaihou@onyx.ocn.ne.jp
☎ 090-1786-0791
http://greennetmie.web.fc2.com/



編集・発行 小林正人事務所

県政に對しまして、ご意見・ご質問がありましたらお気軽にご連絡ください

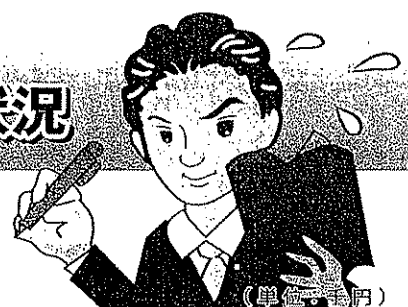
住所 〒513-0806 鈴鹿市算所町1240
TEL&FAX 059-370-5333
Web http://www.masatoweb.jp/

三重県議会議員 小林正人

平成23年度

鈴鹿市内の道路・河川・港湾等における整備状況

(予算・進捗状況と報告)



国補、県単事業の箇所表金額一覧を作成致しましたのでご覧下さい。

(単位：千円)

	事業名	施工箇所	全体計画		進捗状況			平成23年度 事業費	平成23年度 事業概要
			事業費	事業概要	～H21 累計	H22当初 事業費	～H22 進捗率		
1	一般国道306号(伊船BP) 道路改築事業(交付金)	鈴鹿市伊船町～長沢町	1,356,000	L=1,750m W=6.5(15.0)m	1,043,000	10,275	77.7%	31,113	用地測量 用地買収
2	神戸長沢線 道路改築事業(交付金)	鈴鹿市三畑町～伊船町	2,100,000	L=1,100m W=13.0(25.0)m	1,391,300	305,500	80.8%	186,682	用地買収、道路工 道路設計
3	四日市鈴鹿線(鈴鹿橋) 道路改築事業(交付金)	鈴鹿市高岡町～ノ宮町	5,840,000	L=920m W=6.5(16.0)m	2,588,700	719,249	56.6%	518,562	橋梁上部工 道路工
4	鈴鹿環状線(磯山BP) 道路改築事業(地方特定)	鈴鹿市五祝町～磯山町	1,066,000	L=1,750m W=6.5(15.0)m	768,100	157,825	86.9%	150,000	用地買収 道路工
5	四日市関線 道路改築事業(地方特定)	鈴鹿市大久保町～山本町	600,000	L=2,000m W=6.0(7.5)m	30,000	10,275	6.7%	160,000	用地買収 橋梁設計
6	龜山鈴鹿線 道路改築事業(地方特定)	鈴鹿市道伯町～野町	2,000,000	L=900m W=8.0(16.0)m	5,500	5,000	0.5%	5,000	用地測量
7	三行庄野線 道路改築事業(地方特定)	鈴鹿市徳居町	484,000	L=1,396m W=6.0(9.75)m	263,300	30,000	60.6%	50,000	道路工
8	神戸長沢線(定五郎橋) 橋梁耐震対策事業(地方特定)	鈴鹿市上野町～甲斐町	150,000	L=312m W=6.0(8.8)m	46,800	25,000	48.0%	40,000	下部工(耐震工事)
9	野町園府線 街路事業(地方特定)	鈴鹿市野町	2,000,000	L=900m W=8.0(16.0)m	25,830	10,000	1.8%	10,000	用地測量
10	鈴鹿宮妻峡線 道路改築事業(県単)	鈴鹿市椿一宮町	30,000	L=250m W=6.0(8.0)m	0	0	0.0%	5,000	測量、道路設計 用地買収
11	四日市鈴鹿環状線 交通安全事業(交付金)	鈴鹿市神戸7丁目	150,000	L=280m W=2.0m	0	10,000	6.7%	10,370	測量 道路設計
12	鈴鹿港線 交通安全事業(交付金)	鈴鹿市一ノ宮町	50,000	L=100m W=2.5m	4,000	25,000	58.0%	15,556	歩道工
13	芥川 河川改修事業(交付金)	鈴鹿市庄野町～加佐登町	4,940,200	L=1,800m	2,829,300	82,200	58.9%	105,700	護岸工 L=20m
14	堀切川 河川改修事業(交付金)	鈴鹿市白子	9,450,000	L=1,500m	6,780,000	123,300	73.1%	200,800	用地補償 1式
15	金沢川 河川改修事業(県単)	鈴鹿市柳町	106,000	L=120m	0	0	0.0%	65,000	護岸補強工 L=70m
16	田古知川 河川改修事業(県単)	鈴鹿市岸岡町	170,000	L=500m	110,000	20,000	76.5%	10,000	護岸工 L=20m
17	白子港 港湾調査費(県単)	鈴鹿市白子	7,000	調査1式	0	0	0.0%	7,000	耐震調査 1式
18	千代崎海岸(山中地区海岸) 海岸侵食対策事業(交付金)	鈴鹿市山中	2,765,000	L=1,150m	2,185,800	43,000	80.6%	53,700	離岸堤工 L=40m
19	北若松地区海岸 海岸調査費(県単)	鈴鹿市若松	20,000	調査1式	0	0	0.0%	20,000	耐震対策基本設計 地質調査 1式

平成22年度補正等予算

(単位：千円)

	事業名	施工箇所	全体計画		進捗状況			平成22年度 補正等予算 平成23年度 事業費	平成23年度 事業概要
			事業費	事業概要	～H21 累計	H22当初 事業費	～H22 進捗率		
1	四日市鈴鹿線(鈴鹿橋) 道路改築事業(交付金)	鈴鹿市高岡町～ノ宮町	5,840,000	L=920m W=6.5(16.0)m	2,588,700	719,249	56.6%	725,301	道路工
2	鈴鹿環状線(磯山BP) 道路改築事業(地方特定)	鈴鹿市五祝町～磯山町	1,066,000	L=1,750m W=6.5(15.0)m	768,100	157,825	86.9%	216,850	用地補償
3	千代崎海岸(山中地区海岸) 海岸侵食対策事業(交付金)	鈴鹿市山中	2,765,000	L=1,150m	2,185,800	43,000	80.6%	32,100	離岸堤工
4	白子港 港湾整備事業(国補)	鈴鹿市白子	418,500	防波堤L=285m 浚渫V=1万m3	46,500	35,000	19.5%	337,700	防波堤工
5	千代崎港 港湾整備事業(国補)	鈴鹿市原永	135,000	浚渫V=2万6千m3	50,000	60,000	81.5%	50,000	浚渫工

※尚紙面の都合上、一部掲載していない箇所もございますのでご了承下さい。

※鈴鹿地区全体の予算といたしましては、H22年度当初約32億円からH23年度は約2億円の減となっています。

23100034

9月29日(木)AM10:00から

県政に対する一般質問を行いますので、

お時間のある方は、傍聴、TV中継をご覧ください。



三重県議員小林正人 県政レポート

vol.14

初冬の候皆様にかかれましては常
日頃から県議会に對しましていろいろなご
意見、ご指導賜りますこと心から感謝申し上げます。
おかげをもちまして14回目のレポートとなりますが、
今回は9月議会において4つのテーマを設け県執行部
に質問させていただいた内容を中心にご報告させてい
ただこうと思っておりますので一読下さい。(裏面)

ご挨拶

三重県議会議員
小林正人

このような中、県では特に前段の部分において、私の
所管する委員会の関係から、中、高等教育の中で時代の
要請に応じた産業教育、職業教育を特に推進するよう
な施策や、それに対応できる創造性豊で意欲と知識
を持った人材の育成に力を入れ、県内の就労率
UPや若年者の産業界各分野への関心を高めるよう
努力をしております。又後段に於いては、この10
月に県南の被害、復旧の約280億の補正予算を
組み事柄の対応に早期に取組む計画を執行部ともど
も作成いたしました。内容としては、主に孤立化対策
の道路整備、又河床の浚渫、海岸堤防整備等を中心
に再発防止にむけたハード面の整備対策と、ソフト面
では新たな防災計画をきめ細かく想定外ということ
がないように作成するということとにかかっており
ます。いずれにせよ、今の喫緊の課題である防災対
策、景観対策に県執行部、議会あげて全力で取組んで
おる状態であり、今後先行き不透明なこの国の未来
を少しでも皆様にとっていい方向に進むよう最善の
努力をいたしております。今後ともご指導賜ります
よう宜しくお願い申し上げます。

県議会議員 小林 正人

教育警察常任委員会関係

平成24年3月県立学校卒業予定者の就職内定状況等調査 (平成23年10月末現在)

1.就職内定状況(全日制・定時制)

		卒業者数	就職 希望者数	就職 内定者数	10月末 内定率(%)	9月末 内定率(%)	10月末就職 未内定者数	うち結果待ち 生徒数
平成23年度	男	6,355	2,309	1,804	78.1%	46.9%	505	167
	女	6,334	1,625	1,103	67.9%	35.4%	522	155
	計	12,689	3,934	2,907	73.9%	42.2%	1,027	322
平成22年度 10月末	男	6,649	2,424	1,910	78.8%	55.3%	514	179
	女	6,337	1,688	1,088	64.5%	38.4%	600	176
	計	12,986	4,112	2,998	72.9%	48.4%	1,114	355
平成21年度 10月末	男	6,518	2,389	1,839	77.0%	56.7%	550	143
	女	6,450	1,662	1,095	65.9%	46.4%	567	124
	計	12,968	4,051	2,934	72.4%	52.3%	1,117	267

2.各地区別就職内定状況(全日制・定時制)

※()内はH22年10月末

	北勢	中勢	伊賀	松阪	南勢	牟婁	合計
就職内定率(%)	78.2% (77.7)	67.5% (67.9)	79.0% (72.7)	82.0% (76.8)	69.2% (70.8)	62.9% (59.1)	73.9% (72.9)
就職希望者数	1,399	1,014	343	416	595	167	3,934
就職内定者数	1,094	684	271	341	412	105	2,907
就職未内定者数	305	330	72	75	183	62	1,027
うち結果待ち生徒数	106	110	14	25	50	17	322

教育警察常任委員長として県民カビジョン(仮称)・三重県版事業仕分けについて
所管する施策に関する意見を知事に対して申し入れを行いました

県民カビジョン(仮称)

学校教育の充実について 学校教育を充実させるためには、一人ひとりに
応じた研修による教職員の資質の向上とともに、学校の組織力を向上させ、教
職員個人の取組みのみに頼らない学校運営を目指していくべきである。
犯罪対策の推進について 暴力団対策について、平成23年4月に施行された三
重県暴力団排除条例の活用についても取組の方向に含めるべきではないか。

三重県版事業仕分け

高等学校定時制通信制教育教科書学習習得費・高等学
校定時制通信制修学奨励費・定時制高等学校夜食費補助
事業費について 定時制・通信制関係の事業については、
対象となる生徒の修学環境に与える影響を十分考慮し
て、制度設計を検討してほしい。

他にも、個人意見として、H33年の国体招致に向けたスポーツ施設整備、全国学力テストの県内全校実施に向けた取り組み等知事に申し上げました。

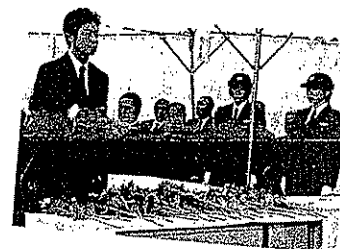
23100035

編集・発行 小林正人事務所

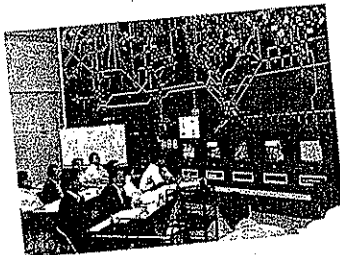
責任者 県政に對しまして、ご意見・ご質問がありましたらお気軽にご連絡ください

住所 〒513-0806 鈴鹿市岸町1240
TEL&FAX 059-370-5333
Web http://www.masatoweb.jp/

活動のようす



県議会代表・教育警察常任委員長として
三重県警察本部H23殉職者追悼式にて献花



三重県交通安全センターにて
道路交通状況の調査



学力・体力向上への取
組みについて全国学
力・体力テストTOPク
ラスの福井県に調査



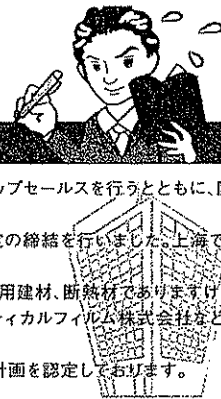
新設の
鳥羽警察署視察



Facebookもぜひご覧ください

県執行部に対しての一般質問

(紙面スペースの関係で全文を掲載できません。詳しくは三重県議会ホームページ「本会議」の中をご覧ください。)



Q1. 産業振興と企業誘致について

A. 知事答弁

地域産業の活性化において企業誘致は非常に大きなインパクトがあるというふうに考えております。知事就任直後から積極的に企業へのトップセールスを行うとともに、関西における企業との連携交流会議や来県したタイ王国投資委員会のビジネス交流会等情報発信を行うなどをしてまいりました。

また、海外においては、中国河南省で三重の魅力をアピールし、両地域の人と経済の交流を向上させる直行便就航に向けた協力などを盛り込んだ観光交流協定の締結を行いました。上海では、三重の立地環境の優位性を中国電器工業協会などの公的機関に訴えるとともに、在上海三重県企業等との意見交換を行ってまいりました。

こうした中で、本年4月からの約半年間に、国際競争力を持ち、成長分野でもある太陽電池用部材等の高機能フィルムを製造する倉敷紡績株式会社やエコ住宅用建材、断熱材でありますけれども、その世界ナンバーワンシェアのサンゴパングループのフランス系企業、マグ・イソペール株式会社、また、情報通信機器用部材を製造するパナソニックオプティカルフィルム株式会社など、主なもので十数件の誘致につながっております。

また、国内需要に対応するための中小規模の設備投資に対しても、緊急経済対策設備投資促進補助金を活用した支援を行っており、今年度は既に4件の事業計画を認定しております。今後、さらに効果的な企業誘致を進めていくため、あらゆる機会をとらえて本県の総合的なポテンシャルをアピールしていくところであります。

さらに、海外との競争が激化していることから、今回策定するみえ産業振興戦略(仮称)の議論の中で効果的な企業立地支援制度のあり方や投資を促す規制の緩和、国内外とのネットワークの構築など、魅力的な事業環境の整備を検討して、位置づけてまいりたいと考えております。

執行部答弁に対する
理解・納得度

A

Q2. 新エネルギー対策、特に太陽光発電について

A. 政策部長答弁

個人向けの太陽光発電につきましては、国の補助制度の再開であるとか、余剰電力の買い取り制度の開始によりまして県内でも普及が進んでいる形でございます。

このような中で、県としては現在、太陽光発電などの新エネルギーについての普及促進につきましては、国の支援制度がないものを補うという考えで補助を実施しているところでございます。具体的には、新エネルギー普及促進事業、先ほど御指摘がございました894万円の予算で事業者向けに10キロワット未満の太陽光発電などの新エネルギー導入に対する補助を行っております。

また、これは6月補正で対応したんですが、家庭用バイオマス熱利用設備等普及促進事業として、これは個人用でございまして、予算額500万円を置きまして、個人向けにバイオマス熱利用であるとか、地中熱利用などの導入に対する補助を新たに計上いたしました。

これらの事業につきましては、事業者向けについては6月から、個人向けについては9月から公募をしているところでございますが、これまでにその受け付けが予算額に達しておりまして、確かにニーズは高いものという形で考えております。非常に厳しい財政状況ではありますが、私としてはできる限り努力をしていきたいと考えております。

今後のエネルギー政策につきましては、これまでのように国が電力会社だけに任せるとの固定観念から脱却して、県民生活や県内産業の基礎となる安定的なエネルギーを確保するというところから県も主体的に取り組んでいきたいと考えております。

このため、太陽光発電につきましては、新エネルギービジョンにおいて重点プロジェクトとして盛り込んだ上で、メガソーラーのような1000キロワット以上のようなものについても具体的な成果を上げることができるよう取り組んでまいりたいと考えております。

Q. 新エネルギーの公共施設への導入、蓄電池の認識、余剰電力のとりあつかいについて

A. 政策部長答弁

3点ございました。公共施設に導入する新エネルギーの扱いをどのように考えるかでございますが、まず公共施設につきましては、これは平成13年4月に公共施設への新エネルギーの導入方針というものを県のほうでつくっておりまして、それからずっと取り組んでいるところであります。

今までに平成22年度末までに146カ所、1200キロワット、家庭用に直せば300軒余になると思うんですが、それぐらいの太陽光発電の施設などを整備してきたところでございます。これからも新エネルギー導入に積極的に取り組んでいきたいというふうに考えております。

蓄電池のお話ですが、これはとても大切な御指摘でございまして、太陽光発電というのはどうしても天候に左右されますので、その不安定さを補うという意味でも電源確保としての蓄電池が重要になってくると考えております。

そういったところから、6月補正の先ほど御指摘があった避難施設への導入支援、モデル的な導入支援の事業につきましては、太陽光発電だけではなく、停電時の夜でも対応できるように、蓄電池も一緒に組み合わせたような補助メニューにしたところでございます。

民間企業の方々々が所有している太陽光発電などの余剰電力の提供ということに関しましては、これは災害時に活用するということはとてもいいお話であります。今後、地域での貢献が大いに期待されると思います。そういったことから、県としてもそういう申し出がございましたら、市町やそれから、防災担当部署なども連携いたしまして、災害時における新たな新エネルギー施設の地域貢献というようなテーマでその有効活用を図ってきたいというふうに考えております。

執行部答弁に対する
理解・納得度

B

Q3. 動物愛護、命のおもさについて

Q. 不妊・去勢手術をうける為の県補助金は?

A. 健康福祉部長答弁

犬や猫の不妊・去勢手術に対します助成につきましては、三重県を含めます都道府県におきまして犬及び猫の不妊・去勢手術の助成は一切行われておらない状況でございます。

県といたしましては、飼い主自身が実施するべきものと考えております。なお、飼い主のいない猫につきましては、ふんや尿などの悪臭などの課題が指摘されておりますことから、今後そういった対策については検討してまいりたいと考えております。

Q. 三重県動物愛護管理推進計画の取り組みについて

A. 健康福祉部長答弁

平成20年度に人と動物とが安全、快適に共生できる社会を目指し、県が策定いたしました三重県動物愛護管理推進計画に基づきまして、殺処分数を減少させるために、終生飼養、最後まで飼っていただくことの推進や譲渡事業の推進が必要ということから、県では将来の社会を担う子どもたちに動物を思いやる気持ちを啓発

させるための動物愛護教室の開催、これは平成22年度、43回、小学生が221名の参加をいただいております。また、保健所に抑留された犬の写真をホームページに掲載することで飼い主への返還の促進を図る取組、平成22年度では365頭の犬が返還されております。また、保健所に引き取られた犬の譲渡事業、平成22年度、42頭などを実施しております。

これらの事業の実施によりまして、収容動物の殺処分数は平成22年度殺処分数を10年前と比較いたしますと半減してきております。また、ここ3年間でも約10%減少するなど、それらの成果が出てきているものと考えております。

Q. 殺処分、安楽死等について

A. 健康福祉部長答弁

本県では、収容動物の殺処分数は減少しつつあるとはいえ、年間4000頭を超えております。炭酸ガス以外の方法で安楽死処分をするためには設備、獣医師等の従事などの配置が必要となりまして、現状では他の方法による安楽死処分を行うことは困難な状況にございます。

県といたしましては、まず、県民への啓発、譲渡事業の推進等によりましてさらに殺処分頭数を減少させていくとともに、炭酸ガス以外の方法で安楽死処分をしている他県の例もございまして、今後そういった例も参考にしながら検討を進めてまいりたいと思います。

執行部答弁に対する
理解・納得度

C

Q4. 北勢地域(鈴鹿市)の防災対策について

A. 県土整備部長答弁

災害時等にはやはり緊急輸送道路というのが非常に重要かと思っております。北勢地域におきましては、東名阪、国道1号、23号などが緊急輸送道路に現在は指定されておりますが、北勢地域、先ほど議員もおっしゃいました人口も多い、産業も集中しているという中で、まだまだ緊急輸送道路ネットワークの強化も必要と思っております。

現在整備しておりますが、新たな緊急輸送道路の軸となる新名神、あるいは中勢バイパス、北勢バイパスなどの早期整備につきまして、国や関係機関に今後とも働きかけていきたいと思います。また、そこへのアクセスとなる県道の神戸長沢線等、必要な県管理道路の整備も進めていきたいと思います。

Q. 津波対策について

A. 県土整備部長答弁

鈴鹿市内の海岸堤防ですが、一部の堤防で海側の補強を行ったり、また、砂浜の浸食対策として波消しブロックの設置などを行っておりますが、全体的にはやはり、老朽化が進行していると思っております。21年度、22年度の老朽化等の調査の結果、鈴鹿市内では24カ所の空洞があると

思われます。今後、こういった調査に基づきまして、早急に補強等の対策が必要な箇所については老朽化の進行度合いを考慮しながら優先度を判断して、補強などを緊急的に進めることとしたいと思っております。

執行部答弁に対する
理解・納得度

B

23100036

三重県政リポート

vol.15



三重県議会議員
小林正人

ご挨拶

早春の候 皆様には誠にありがとうございます。また日頃からの県政リポートを通していろいろなご意見・ご指導賜りますこと心から感謝申し上げます。いよいよ今年度2月15日から本格的に三重県議会第1定例会が開会いたしました。約135日間の長丁場ではありますが、開会日には予算議案を含めた74本の議案が上程され、それ以外にも昨年からの県議会、執行部と全庁あげて取り組んで参りました震災或いは県南の大水害の復旧作業や、今後おこりえる自然災害に備えての防災関係事業が山積しております。また諸外国同様景気の低迷による財政難、国は当然のことながら、本県においても当初、H24年度の新しい予算編成もままならぬ程の財政難にありました。それでも何とか、行財政改革、三重県版事業仕分けや、議会費の削減、更にこれまでも考えられなかった県一般職の給与3%削減等、それぞれの立場で努力し、何とか6693億余のH24当初予算を組むことができました。中でも私が委員長を務めていた警察本部においては376億6700万余(前年度から約17億の減)教育委員会においては1620億8664万余(前年度から約54億の減)と大変厳しい予算編成となりました。このように大変厳しい現状ではありますが、更なる議会改革への取組みや、県の組織改定にも関わらずながら、少しでも必要な事業の予算執行が円滑に進むよう、或いは議員としての本来の仕事が出来るよう最善の努力をして参りたいと思います。時節がらお身体には充分ご留意下さい。

県議会議員 小林 正人

3月5日予算決算常任委員会にて総括質疑を行いました

国私学振興補助金について

Q1. 私学振興補助金は公教育の一翼を担っている私立学校に児童・生徒の経済的負担の軽減を図るため経常的経費の一部を支援するといったもので、H24年度当初予算では46億8916万円計上されております。この補助金は国補助と一般財源(交付税措置額・県単費)で組まれており、ここ3~4年国補助の部分は増額傾向にあるのに対し、一般財源の県単費の部分は毎年減額されております。知事の私学助成に対するご所見を伺いました。

Q2. 私立高等学校等就学支援金交付事業について中でも県単費の部分授業料減免補助金、入学金の補助に対しての所得制限改定について伺いました。

Q3. 公私定員の割合8:2、この比率を見直すことによって、教育の平等性や県の義務的経費、特に人件費等の歳出をおさえることができるとは思いますか?ということについて伺いました。

子育て対策関係補助事業について

Q4. 次世代育成支援特別推進事業の中の病児・病後児保育事業、今年度5481万6千円についてその妥当性と事業メニューの中に食物アレルギー対策を新しく設けて頂きたい、という事について伺いました。

Q5. 障がい児保育事業補助金に関してその必要性を伺い、増額を要望しました。

Q6. 安心こども基金保育整備基盤事業H24年度12億8419万円計上されている中、保育所整備についてその優先順位を各市町にすべてを任せろではなく、監査や定員設定に関与する県の立場からもエントリーされた園に対しては現場に赴き再度精査する必要があるのでは、と伺いました。

問いに対する執行部回答は紙面上の都合によりホームページをご覧ください →

三重県議会中継 予算

検索

議会活動の様子



警察
&
教育関係



1. 市長と共に教育警察常任委員長として知事に県民力ビジョンおよび行動計画・行財政改革取組について申し入れ



2. 三重現場de県議会において働く女性の方々と仕事と子育ての調和について意見交換



4. 2月3日公聴広報委員として四日市常盤西小学校にて出前講座



5. 2月7日公聴広報委員として桑名市精華小学校にて出前講座



3. 三重県警平成24年度祝開式にて

23100037

平成24年度当初予算主要事業(警察・教育関係・新規事業一部掲載)

警察本部関係

防災・減災対策の推進

1 地域を支える警察活動強化事業 予算 2,526千円

一 災害対応力の充実・強化

地域住民の安全・安心のよりどころとして重要な防災拠点である交番・駐在所にポータブル電源や避難誘導用具等の整備を進め、防災拠点機能の強化を図ります。(交番・駐在所50か所)

2 災害警備対策事業 予算 23,015千円

一 災害対応力の充実・強化

災害発生時に迅速かつ的確に対応するため警察本部のシステムサーバーの免震等の対策を講じて、災害対応力の強化を図ります。

犯罪に強いまちづくり

1 みんなで進める犯罪に強いまちづくりの推進事業 予算 843千円

一 みんなで進める犯罪に強いまちづくりの推進

犯罪に強いまちづくりを推進するため、非行少年や被害少年等の居場所づくりなどを通じて、既存ボランティア等を含めたさまざまな主体による少年の非行防止活動の拡大を図ります。(大学生ボランティア40人委嘱、居場所づくり8回開催)

2 犯罪被害者等支援対策の充実事業 予算 1,432千円

一 犯罪被害者等支援対策の充実

社会全体で犯罪被害者等を支える機運を醸成するため、学生等のボランティアと一体となった広報啓発活動等を通じて、県民の被害者支援活動への参加を推進します。([「命の大切さ」を学ぶ教室]15回開催、広報啓発イベント1回開催)

交通安全のまちづくり

1 交通管制センターシステム更新整備事業 予算 428,671千円

一 安全で快適な交通環境の整備

交通流の効率的な管理とリアルタイムな交通情報を提供するため、老朽化した交通管制センターのシステムの更新整備を図ります。

2 交通信号機震災対策事業 予算 189,096千円

一 安全で快適な交通環境の整備

震災等の災害時における交通秩序を維持するため、交通安全施設の適正な更新や維持管理を行い、災害に強い交通安全施設の整備を図ります。(交通信号機のLED化80か所等)

教育関係

多文化共存社会づくり

1 多文化共存社会の担い手をつくる外国人児童生徒教育委員推進事業 予算 40,651千円

一 外国人住民の地域社会参画支援

外国人児童生徒の就学相談や初期適応指導等、受入体制整備に係る取組を支援します。また、専門的な知識・技能を有する巡回相談員やコーディネーターを派遣し、日本語指導、学校生活への適応指導の充実を図るとともに、実践研究を進め、三重県モデルの確立をめざします。(受入体制に係る取り組み支援:8市町、JSLカリキュラムの実践研究:7市町で実施)

学力の向上

1 少人数教育推進事業 予算 1,306,141千円

国の制度による小学校1年生の35人学級編制のもと、本県独自の取組である小学校1・2年生での30人学級(下限25人)、及び中学校1年生での35人学級(下限25人、事情に応じて2年生あるいは3年生に弾力的に振替)を継続するとともに、国の定数を活用し、小学校2年生の36人以上学級の解消を図ります。また、小中学校において、少人数授業などを実施するための教員配置(小学校:定数40人、非常勤185人、中学校:定数12人、非常勤50人)を継続し、各学校の事情に応じた学力向上の取組を支援するなど、きめ細かな教育を推進します。

2 「確かな学力」を育む総合支援事業 予算 30,377千円

一 子どもたちの学力の定着と向上

児童生徒の学力向上を図るため、全ての公立小学校において全国学力・学習状況調査の実施・活用を促進し、調査結果の分析に基づく授業方法の工夫改善への支援を行います。また、実践推進校には、学力向上アドバイザーの派遣等により、総合的な支援を行います。(県内29市町に100校程度の実践推進校を指定)

3 高校生就職対策緊急支援事業 予算 31,334千円

一 社会に参画する力の育成

県立高校の就職指導のプロセス改善のための取組や、企業で管理職や人事部門の経験を有する就職支援相談員の配置、地域連携会議・就職情報交換会の開催等により、就職を希望する高校生の進路実現を図ります。(就職支援相談員の配置:10人、キャリア教育推進地域連携会議の実施:7か所)

4 学びの環境づくり支援事業 予算 25,213千円

一 学びを支える環境づくりの推進

いじめや暴力行為、不登校などの課題を解決し、子どもたちの学びを保障するための環境づくりを推進していくため、従来の取組に加え、中学校区を単位として重点的に取り組む地域(15中学校区)にスクールカウンセラーを配置し、小中学校間のスムーズな連携や継続した支援を進め、教育相談体制の充実・活性化を図ります。

特別支援教育の充実

1 早期からの一貫した教育支援体制整備事業 予算 13,845千円

一 特別支援教育の推進

就学から卒業までの学校教育段階における、発達障がいを含むすべての障がいのある幼児児童生徒の支援情報を円滑に引き継ぐため、「パーソナルカルテ」の作成を促進するとともに、特別支援学校のセンターの機能の発揮と外部の専門家等の積極的な活用により、相談・支援体制の充実を図ります。(パーソナルカルテ推進強化市町:16市町、平成27年度までに全市町で取組)

2 共に働きやすい職場づくりモデル事業 予算 11,655千円

一 就労の実現

障がいのある人が、障がいの状況に応じて働くことができる職場づくりをめざして、県立学校においてモデル的に任用を行います。

学校における防災教育・防災対策の推進

1 学校防災推進事業 予算 14,233千円

一 防災教育の推進

大規模地震等の自然災害に備え、学校における平常時の防災教育・防災対策の充実を図るとともに、災害時に児童生徒の安全確保のための迅速かつ的確な対応が可能となるよう、学校防災のリーダーとなる教職員を養成します。また、学校における防災タウンウォッチングや防災マップづくりなどの体験型防災学習の支援、防災ノート等を活用した学習により、防災教育の充実を図るとともに、保護者、地域住民等との合同の避難訓練や防災学習の支援により、学校・家庭・地域の連携を促進します。

2 学校防災機能強化事業 予算 445,049千円

一 防災教育の推進

大規模災害発生時に、児童生徒の安全を確保し被害を軽減するため、市町が実施する小中学校の非常用発電機や投光器等の防災機器の整備等を支援するとともに、県立学校において、全校に防災用毛布の備蓄、孤立想定地区に所在する学校に水・食料の備蓄や衛星携帯電話の整備等を行い、学校の防災機能を強化します。

学校スポーツと地域スポーツの推進

1 運動部活動支援事業 予算 156,658千円

一 学校スポーツの充実

中・高等学校の県総合体育大会等の開催や、全国大会等の出場に対する支援により、運動部活動の充実を図るとともに、平成25年に本県で開催する全国中学校体育大会に向けた準備を支援します。

2 第76回国民体育大会開催準備事業 予算 10,165千円

一 競技力の向上

平成33年の第76回国民体育大会の本県開催に向け、県、市町、民間等からなる国体準備委員会(仮称)を設置します。また、開催県や開催予定県から情報を収集し、会場地選定に向けた調査や調整など、開催準備を円滑に推進します。

23100038

政務調査費入力

個人分

日付	平成 23 年 07 月 14 日		
使途項目 及び 支出科目	使途項目 広報費	支出科目 通信運搬費	
使途用途	用途1 県政レポート発送代		90230 円
	用途2		0 円
	用途3		0 円
	用途4		0 円
	用途5		0 円
支出金額	使途用途合計	90230 × 95% =	85718 円
根拠	県政報告と個人写真割合		

23100039

政務調査費入力

個人分

日付	平成 23 年 12 月 12 日		
使途項目 及び 支出科目	使途項目 広報費	支出科目 通信運搬費	
使途用途	用途1 県政レポート発送代	94755 円	
	用途2	0 円	
	用途3	0 円	
	用途4	0 円	
	用途5	0 円	
支出金額	使途用途合計	94755 × 95% =	90017 円
根拠	県政報告と個人写真との割合		

23100040

政務調査費入力

個人分

日付	平成 24 年 03 月 27 日		
使途項目 及び 支出科目	使途項目 広報費	支出科目 通信運搬費	
使途用途	用途1 県政リポート発送代	89345 円	
	用途2	0 円	
	用途3	0 円	
	用途4	0 円	
	用途5	0 円	
支出金額	使途用途合計	89345 × 95% =	84877 円
根拠	個人写真比率との按分		

23100041

領収証書

毎度ありがとうございます

小林 正人 様

〒190-8798 郵便事業株式会社
東京都千代田区霞が関1-3-2
2011年7月14日 11:28

【別納1】
区内特別基 (定)
562通 ¥43,030
小計 ¥43,030

第一種定形
590通 ¥47,200
小計 ¥47,200

課税計
(内消費税等
非課税計
¥90,230
¥4,298)
¥0

合計 ¥90,230
お預り金額 ¥90,500
おつり ¥270

印紙税申告納
付につき廻町
税務署承認済

担当 端01箱01
発行No.8413
連絡先: 鈴鹿加佐登郵便局
TEL:059-378-0801

領収証書

毎度ありがとうございます

小林 正人 様

〒100-8798 郵便事業株式会社
東京都千代田区霞が関1-3-2
2011年12月12日 11:57

【別納1】
区内特別基 (定)
653通 ¥42,835
小計 ¥42,835

第一種定形
649通 ¥51,920
小計 ¥51,920

課税計
(内消費税等
非課税計
¥94,755
¥4,512)
¥0

合計 ¥94,755
お預り金額 ¥100,000
おつり ¥5,245

印紙税申告納
付につき廻町
税務署承認済

担当 端01箱01
発行No.2165
連絡先: 鈴鹿加佐登郵便局
TEL:059-378-0801

領収証書

毎度ありがとうございます

小林 正人 様

〒100-8798 郵便事業株式会社
東京都千代田区霞が関1-3-2
2012年3月27日 11:57

【別納1】
区内特別基 (定)
657通 ¥42,705
小計 ¥42,705

第一種定形
583通 ¥46,640
小計 ¥46,640

課税計
(内消費税等
非課税計
¥89,345
¥4,254)
¥0

合計 ¥89,345
お預り金額 ¥89,345

印紙税申告納
付につき廻町
税務署承認済

担当 端01箱01
発行No.5039
連絡先: 鈴鹿加佐登郵便局
TEL:059-378-0801

事務所費

23100043

政務調査費入力

個人分

日付	平成 23 年 05 月 30 日				
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務所費	支出科目 賃借料			
使途用途	用途1	事務所賃借料			53000 円
	用途2				0 円
	用途3				0 円
	用途4				0 円
	用途5				0 円
支出金額	使途用途合計	53000	×	50%	= 26500 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分				

23100044

政務調査費入力

個人分

日付	平成 23 年 06 月 30 日		
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務所費	支出科目 賃借料	
使途用途	用途1 事務所賃借料		53000 円
	用途2		0 円
	用途3		0 円
	用途4		0 円
	用途5		0 円
支出金額	使途用途合計	53000 × 50% =	26500 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分		

23100045

政務調査費入力

個人分

日付	平成 23 年 07 月 29 日		
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務所費	支出科目 賃借料	
使途用途	用途1 事務所賃借料		53000 円
	用途2		0 円
	用途3		0 円
	用途4		0 円
	用途5		0 円
支出金額	使途用途合計	53000 × 50% =	26500 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分		

23100046

政務調査費入力

個人分

日付	平成 23 年 08 月 31 日			
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務所費	支出科目 賃借料		
使途用途	用途1 事務所賃借料	53000 円		
	用途2	0 円		
	用途3	0 円		
	用途4	0 円		
	用途5	0 円		
支出金額	使途用途合計	53000	× 50% =	26500 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分			

23100047

政務調査費入力

個人分

日付	平成 23 年 09 月 30 日			
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務所費	支出科目 賃借料		
使途用途	用途1 事務所賃借料	53000 円		
	用途2	0 円		
	用途3	0 円		
	用途4	0 円		
	用途5	0 円		
支出金額	使途用途合計	53000	× 50% =	26500 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分			

23100048

政務調査費入力

個人分

日付	平成 23 年 10 月 31 日		
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務所費	支出科目 賃借料	
使途用途	用途1 事務所賃借料		53000 円
	用途2		0 円
	用途3		0 円
	用途4		0 円
	用途5		0 円
支出金額	使途用途合計	53000 × 50% =	26500 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分		

23100049

政務調査費入力

個人分

日付	平成 23 年 11 月 29 日		
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務所費	支出科目 賃借料	
使途用途	用途1 事務所賃借料		53000 円
	用途2		0 円
	用途3		0 円
	用途4		0 円
	用途5		0 円
支出金額	使途用途合計	53000 × 50% =	26500 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分		

23100050

政務調査費入力

個人分

日付	平成 23 年 12 月 29 日		
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務所費	支出科目 賃借料	
使途用途	用途1 事務所賃借料		53000 円
	用途2		0 円
	用途3		0 円
	用途4		0 円
	用途5		0 円
支出金額	使途用途合計	53000 × 50% =	26500 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分		

23100051

政務調査費入力

個人分

日付	平成 24 年 01 月 31 日				
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務所費	支出科目 賃借料			
使途用途	用途1 事務所賃借料	53000 円			
	用途2	0 円			
	用途3	0 円			
	用途4	0 円			
	用途5	0 円			
支出金額	使途用途合計	53000	×	50%	= 26500 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分				

23100052

政務調査費入力

個人分

日付	平成 24 年 02 月 28 日				
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務所費	支出科目 賃借料			
使途用途	用途1 事務所賃借料	53000 円			
	用途2	0 円			
	用途3	0 円			
	用途4	0 円			
	用途5	0 円			
支出金額	使途用途合計	53000	×	50%	= 26500 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分				

23100055

政務調査費入力

個人分

日付	平成 24 年 03 月 29 日		
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務所費	支出科目 賃借料	
使途用途	用途1 事務所賃借料		53000 円
	用途2		0 円
	用途3		0 円
	用途4		0 円
	用途5		0 円
支出金額	使途用途合計	53000 × 50% =	26500 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分		

23100054

(事務所費)

23100055

領収証

No. 2356

小林 正人 様 2012年 4月 5日

金額	¥	636000
----	---	--------

内 但ジョボスズギ店舗3.2011年4月1日から2012年3月
消費税等 上記正に領収いたしました 家賃として

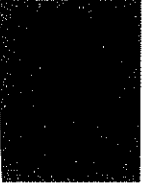
現金	¥636000
小切手	

株式会社 シー
〒510-0242 鈴鹿市白子本町2-30番
TEL059-380-0880 FAX059-3881-1111

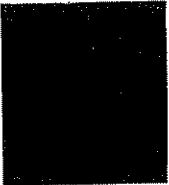


※ 年内一括領収書発行 4月分 53,000円を差引く
金額 583,000円 5月～4月分計
12,877円

※ H15A00 #779



事業用貸借契約書



23100056

賃貸借契約書

賃貸人  (以下甲と称す) と
賃借人 自由民主党三重県第二選挙区支部 (以下乙と称す) との間に
第1条記載の建物 (以下賃貸借物件と称す) につき、賃貸借契約
を以下の通り締結した。

記

第1条 (賃貸借物件)

甲は次に示す賃貸借物件を乙に賃貸し、乙はこれを賃借する。

名 称: コーポスズキ店舗 3号室

所在地: 三重県鈴鹿市算所町新開1240

構 造: 鉄骨造り

規 模: 2階建

契約面積: 46.2㎡ (14坪)

第2条 (使用目的)

乙は賃貸借物件を次の目的にのみ使用し、これ以外の目的に使用してはならない。

使用目的: 選挙事務所

第3条 (賃貸借契約期間と更新)

賃貸借契約期間は、平成18年3月5日から平成21年3月4日までの満3年間とする。但し、上記契約期間満了の日の3ヶ月前までに甲・乙のいずれからも書面による別段の通知のない場合には、更に1年間更新するものとし以後も同様とする。

第4条 (賃料・共益費)

1. 賃料は月額一金、50,000円也とし、毎月末日までにその翌月分を振込みにて支払うものとする。
2. 共益費は家賃に込みとする。
3. 1ヶ月未満の賃料・共益費は日割計算とする。
4. 賃料支払いの際の振込手数料は乙の費用負担とする。

【振替口座・振込口座】

銀行	支店
普通預金	
口座名義	

第5条 (賃料以外の諸費用)

乙は前条に定める賃料のほか、以下の費用を別途支払うものとする。

- (1) 乙の専用に供する電気・水道・掃除費等。
- (2) その他乙の負担に属すべき費用。

第6条 (賃料及び諸費用の改定)

賃料及び前条に定める諸費用については、この契約期間中であっても法令の制定・改正、経済情勢の変動もしくは公租公課その他負担増のあった場合、または近隣の建物の賃料などに比較して不相当となった場合においては、甲・乙協議の上これを改定することが出来るものとする。

第7条 (敷金・保証金)

1. この契約から生じる債務を担保するため、乙は敷金として、一金150,000円也を甲に預託するものである。
2. 敷金はこの契約終了後、1カ月以内に返還するものとする。
3. この契約の期間中、乙は敷金をもって賃料その他この契約にもとづく乙の債務の弁済に充当することを主張することは出来ない。但し、乙が甲に対する債務の弁済を怠った場合には、甲は敷金の全部または、一部をもって何時にてもその弁済に充当することが出来る。この場合、甲は乙の充当金額およびその内訳を通知し、乙はその通知を受けてから5日以内に充当により生じた不足分を補填しなければならない。

第8条 (公租公課)

1. 乙の設備、造作に不動産所得税、固定資産税等が課される場合は、乙が負担するものとする。
2. 乙の負担すべき賃料・諸費用等について消費税が課される場合は、乙の負担とする。

第9条 (善管注意義務)

1. 乙は賃貸借物件および賃貸借物件の共用部分について、善良なる管理者の注意をもって使用しなければならない。
2. 賃貸借物件の通常の維持管理費用は乙の負担とする。但し、乙が修繕を行なうとするときは予め甲の承諾を得なければならない。

3. 乙の使用人、訪問者その他乙の関係人が故意または過失によって賃貸借物件に破損、故障その他の損害を与えた場合は、乙は遅滞なくその旨を甲に連絡するとともにその補修に要する費用を負担しなければならない。

第10条 (禁止事項)

乙は次の各号に定める行為をしてはならない。

- (1) 賃借権の全部または一部を第三者に譲渡し、またはこれを担保の用に供すること。
- (2) 賃貸借物件の全部または一部を第三者に転貸し、もしくは名義の如何を問わず第三者に使用させること。
- (3) 敷金の返還請求権を第三者に譲渡し、またはこれを担保の用に供すること。
- (4) 賃貸借物件の内外に風紀を害する、もしくは各法律に触れる公告またはその設備をすること。
- (5) 賃貸借物件の維持保全を害すること。

第11条 (事前承認事項)

乙は次の各号に定める行為をなす場合は、予め甲の文書による承認を得なければならない。

- (1) 賃貸借物件の改装・間仕切り、設備の新設その他現状を変更する工事を行うとき。
- (2) ガス・水道等の器具を新設し、もしくはその容量を変更するとき。
- (3) 賃貸借物件内に金庫等の重量物または電気容量の大きい機器を搬入設置し、またはこれらを移転するとき。
- (4) 営業の目的を変更するとき。

第12条 (解 約)

賃貸借契約期間中において、乙の都合によりこの契約を解約しようとするときは3ヶ月前までに、また甲の都合により解約しようとするときは6ヶ月前までにそれぞれ相手方に対し書面をもってその旨の予告をしなければならない。但し、乙はこの予告にかえて、第4条に定める賃料の3ヶ月分に相当する金額を甲に支払い、即時解約することができる。

第13条 (契約の解除)

1. 乙が次の各号に該当する場合には、甲はその催告その他なんらの手続きを要しないでただちにこの契約を解除することができる。
 - (1) 賃料・諸費用のその他この契約から生ずる金銭債務の支払を1ヶ月以上遅延したとき。
 - (2) 破産・和議・会社整理・会社更正の何れかの申し立てがあったときまたは解散もしくは任意整理を開始したとき。
 - (3) 自ら振り出し、もしくは引き受けた手形または自ら振り出した小切手につき不渡り処分を受けたとき。

- (4) 支払い停止をしたとき、または支払い不能になったとき。
 - (5) 監督官庁から営業停止または営業許認可の取り消し処分を受けたとき。
 - (6) 営業を廃止したとき。
 - (7) 引き続き2週間以上に亘り、乙または乙の使用責任者の所在が不明となり甲から連絡を取ることが困難となったとき。
 - (8) 当該賃貸借物件を不正に使用または利用し、甲または賃借人の名誉信用を毀損する等不信行為があったと甲において認めたとき。
 - (9) この契約に定める各事項に違反したとき。
2. 前項により甲がこの契約を解除した場合において、甲に損害が生じた時は乙はそれを賠償しなければならない。

第14条 (損害賠償)

乙がこの契約の各事項に違反し、甲に損害を与えた場合には、乙は甲の蒙った損害を賠償しなければならない。

第15条 (免責)

震災、風害、火災、盗難その他甲の責めに帰することのできない事由により乙が損害を蒙った場合には、甲は損害賠償の責を負わない。

第16条 (物件の明渡しと原状回復)

1. 期間の満了、解約、または解除によってこの契約が終了した場合には乙は遅延なくその負担において賃貸借物件を原状回復の上、これを甲に明渡すものとする。
2. 乙が遅延なく前項の明渡しをしない場合には、甲はその経過分の賃料相当額および第5条に定める諸費用の倍額を損害賠償金として乙に請求することができる。
3. 第1項の明渡しにあたり、乙は賃貸借物件を現状にて甲に返還すれば足りることとする。但し、乙が賃貸借物件内外に取り付けた設備、看板や搬入した備品または、敷地内の設備、看板は乙の負担にて撤去することとする。
4. 乙は賃貸借物件の明渡しに際し、移転料、立退料、営業権の補償その他名目の如何を問わず、甲に対し一切の請求をすることが出来ない。

第17条 (届出事項)

乙において次の各号に定める事由が発生したときは、ただちに書面をもって甲に届け出なければならない。

- (1) 氏名、商号、住所、印鑑または代表者の住所を変更したとき。
- (2) 代表者または賃貸借物件の使用責任者を変更した場合。
- (3) 合併したとき、会社組織を変更したとき。

第18条 (賃貸借物件内への立入)

甲は管理上必要があると認めたときには、乙の承諾を得て賃貸借物件内に立ち

入ることができる。

但し、緊急の場合には乙の承諾を得ることなく立ち入ることができる。

第19条 (遅延賠償金)

乙がこの契約に基づく金銭債務の履行を遅延したときは、乙は遅延金額につき、日歩10銭(10,000円に対し1日あたり10円)の割合による遅延損害金を甲に支払わなければならない。

第20条 (合意解除)

この契約に関する事項について紛争が生じた場合には、建物の所在地を管轄する裁判所をもって管轄裁判所とすることに甲・乙合意する。

第21条 (連帯保証人)

1. 連帯保証人は、乙と連帯してこの契約に基づく乙の一切の債務を保証します。
2. 連帯保証人は、この契約の更新がなされた後も、引き続きその責任を負うものとします。
3. 甲は、連帯保証人が死亡又は、解散したとき、その他甲において必要とみとめるときはその変更又は追加を求めることができます。
4. 連帯保証人を変更する場合は、事前に甲の承諾を得なければなりません。

第22条 (駐車場)

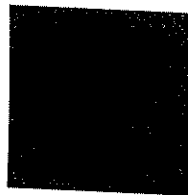
乙は、この契約に伴い敷地内に駐車場として2台使用することができる。

第23条 (協議事項)

この契約に定めのない事項および解釈適用について疑義が生じた場合には甲乙双方協議のうえ、誠意を持って処理するものとする。

第24条 (特約事項)

1. 現状渡しとする。
2. 退去時現状回復をするものとする。



この契約締結の証として本契約書2通を作成し、甲乙各自署名捺印のうえそれぞれ1通を保持するものとする。

2006 年 2月 16日

23100061

賃貸人(甲)

住所

氏名

TEL

印

賃借人(乙)

住所

氏名

TEL

連帯保証人

住所

氏名

TEL

勤務先名称

TEL

仲介業物

免許番号

住所

氏名

TEL

宅地建物取引主任者

登録番号

氏名

三重県知事(02)第2664号

F510-0242 鈴鹿市山崎町12番30号

株式会社 ネット

代表取締役 松本 浩士 男

TEL059-380-0880 FAX059-368-1441

登録番号(三重県)第5680号

取引主任者 米倉 クニエ

印

印

23100062

使用証明書

物件名・号室	コーポスズキ店舗 3号室
所在地	三重県鈴鹿市算所町新開1240番地
賃貸人	
賃借人	自由民主党鈴鹿第二支部
賃料	50,000円
共益費	実費
駐車場	2台分賃料込
追加駐車場	3,000円(1台)

上記賃貸借契約の利用者は小林 正人である事を証明する。

2009 年 4 月 16 日
管理会社

〒510-0242 鈴鹿市算所町12番30号
株式会社イーネット
TEL059-380-0880 FAX059-368-1441



23100063

政務調査費入力

個人分

日付	平成 23 年 05 月 30 日				
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務所費	支出科目 管理運営費			
使途用途	用途1 電気料金				7218 円
	用途2				0 円
	用途3				0 円
	用途4				0 円
	用途5				0 円
支出金額	使途用途合計	7218	×	50%	= 3609 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分				

23100064

政務調査費入力

個人分

日付	平成 23 年 06 月 30 日				
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務所費	支出科目 管理運営費			
使途用途	用途1 電気料金				6236 円
	用途2				0 円
	用途3				0 円
	用途4				0 円
	用途5				0 円
支出金額	使途用途合計	6236	×	50%	= 3118 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分				

23100065

政務調査費入力

個人分

日付	平成 23 年 07 月 29 日			
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務所費	支出科目 管理運営費		
使途用途	用途1 電気料金			8079 円
	用途2			0 円
	用途3			0 円
	用途4			0 円
	用途5			0 円
支出金額	使途用途合計	8079	× 50% =	4039 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分			

23100066

政務調査費入力

個人分

日付	平成 23 年 08 月 31 日				
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務所費	支出科目 管理運営費			
使途用途	用途1 電気料金	6791 円			
	用途2	0 円			
	用途3	0 円			
	用途4	0 円			
	用途5	0 円			
支出金額	使途用途合計	6791	×	50%	= 3395 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分				

23100067

政務調査費入力

個人分

日付	平成 23 年 09 月 30 日				
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務所費	支出科目 管理運営費			
使途用途	用途1 電気料金	6944 円			
	用途2	0 円			
	用途3	0 円			
	用途4	0 円			
	用途5	0 円			
支出金額	使途用途合計	6944	×	50%	= 3472 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分				

23100068

政務調査費入力

個人分

日付	平成 23 年 10 月 31 日				
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務所費	支出科目 管理運営費			
使途用途	用途1 電気料金	6661 円			
	用途2	0 円			
	用途3	0 円			
	用途4	0 円			
	用途5	0 円			
支出金額	使途用途合計	6661	×	50%	= 3330 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分				

23100069

政務調査費入力

個人分

日付	平成 23 年 11 月 29 日			
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務所費	支出科目 管理運営費		
使途用途	用途1 電気料金			5680 円
	用途2			0 円
	用途3			0 円
	用途4			0 円
	用途5			0 円
支出金額	使途用途合計	5680	×	50% = 2840 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分			

23100070

政務調査費入力

個人分

日付	平成 23 年 12 月 29 日		
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務所費	支出科目 管理運営費	
使途用途	用途1 電気料金	7181 円	
	用途2	0 円	
	用途3	0 円	
	用途4	0 円	
	用途5	0 円	
支出金額	使途用途合計	7181 × 50% =	3590 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分		

23100071

政務調査費入力

個人分

日付	平成 24 年 01 月 31 日		
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務所費	支出科目 管理運営費	
使途用途	用途1 電気料金	8045 円	
	用途2	0 円	
	用途3	0 円	
	用途4	0 円	
	用途5	0 円	
支出金額	使途用途合計	8045 × 50% =	4022 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分		

23100072

政務調査費入力

個人分

日付	平成 24 年 02 月 28 日		
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務所費	支出科目 管理運営費	
使途用途	用途1 電気料金		9610 円
	用途2		0 円
	用途3		0 円
	用途4		0 円
	用途5		0 円
支出金額	使途用途合計	9610 × 50% =	4805 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分		

23100076

政務調査費入力

個人分

日付	平成 24 年 03 月 29 日		
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務所費	支出科目 管理運営費	
使途用途	用途1 電気料金		10674 円
	用途2		0 円
	用途3		0 円
	用途4		0 円
	用途5		0 円
支出金額	使途用途合計	10674 × 50% =	5337 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分		

23100074

電気料金等払込受領証(領収証)

平成23年 8月分	金額	6,791 円
ご使用期間	消費税等相当額(再掲)	323 円
7月11日~8月8日		
払込人氏名	小林 正人 様	
お客さま番号	日 程	
3426348051630	08	

お支払いが 8月29日を超えますと速収料金(早収料金の3%増し)と早収料金との差額を翌月以降の料金に加算させていただきます。

この振込用紙は 9月28日まで有効期限内でございます。有効期限を過ぎた場合のお支払いは中部電力の担当営業所にお問い合わせください。

中部電力株式会社 総務営業所
TEL0120-985-342
(携帯電話・PHSからもご利用いただけます。)

電気料金等払込受領証(領収証)

平成23年 7月分	金額	8,079 円
ご使用期間	消費税等相当額(再掲)	383 円
6月9日~7月10日		
払込人氏名	小林 正人 様	
お客さま番号	日 程	
3426348051630	08	

お支払いが 8月 1日を超えますと速収料金(早収料金の3%増し)と早収料金との差額を翌月以降の料金に加算させていただきます。

この振込用紙は 8月30日まで有効期限内でございます。有効期限を過ぎた場合のお支払いは中部電力の担当営業所にお問い合わせください。

中部電力株式会社 総務営業所
TEL0120-985-342
(携帯電話・PHSからもご利用いただけます。)

電気料金等払込受領証(領収証)

平成23年 6月分	金額	6,236 円
ご使用期間	消費税等相当額(再掲)	296 円
5月12日~6月8日		
払込人氏名	小林 正人 様	
お客さま番号	日 程	
3426348051630	08	

お支払いが 6月29日を超えますと速収料金(早収料金の3%増し)と早収料金との差額を翌月以降の料金に加算させていただきます。

この振込用紙は 7月29日まで有効期限内でございます。有効期限を過ぎた場合のお支払いは中部電力の担当営業所にお問い合わせください。

中部電力株式会社 総務営業所
TEL0120-985-342
(携帯電話・PHSからもご利用いただけます。)

電気料金等払込受領証(領収証)

平成23年 5月分	金額	7,218 円
ご使用期間	消費税等相当額(再掲)	343 円
4月11日~5月11日		
払込人氏名	小林 正人 様	
お客さま番号	日 程	
3426348051630	08	

お支払いが 6月 1日を超えますと速収料金(早収料金の3%増し)と早収料金との差額を翌月以降の料金に加算させていただきます。

この振込用紙は 7月 1日まで有効期限内でございます。有効期限を過ぎた場合のお支払いは中部電力の担当営業所にお問い合わせください。

中部電力株式会社 総務営業所
TEL0120-985-342
(携帯電話・PHSからもご利用いただけます。)

電気料金等払込受領証(領収証)

平成23年 9月分	金額	6,944 円
ご使用期間	消費税等相当額(再掲)	330 円
8月9日~9月8日		
払込人氏名	小林 正人 様	
お客さま番号	日 程	
3426348051630	08	

お支払いが 9月29日を超えますと速収料金(早収料金の3%増し)と早収料金との差額を翌月以降の料金に加算させていただきます。

この振込用紙は 10月31日まで有効期限内でございます。有効期限を過ぎた場合のお支払いは中部電力の担当営業所にお問い合わせください。

中部電力株式会社 総務営業所
TEL0120-985-342
(携帯電話・PHSからもご利用いただけます。)

電気料金等払込受領証(領収証)

平成23年 8月分	金額	6,791 円
ご使用期間	消費税等相当額(再掲)	323 円
7月11日~8月8日		
払込人氏名	小林 正人 様	
お客さま番号	日 程	
3426348051630	08	

お支払いが 8月29日を超えますと速収料金(早収料金の3%増し)と早収料金との差額を翌月以降の料金に加算させていただきます。

この振込用紙は 9月28日まで有効期限内でございます。有効期限を過ぎた場合のお支払いは中部電力の担当営業所にお問い合わせください。

中部電力株式会社 総務営業所
TEL0120-985-342
(携帯電話・PHSからもご利用いただけます。)

電気料金等払込受領証(領収証)

平成23年 7月分	金額	8,079 円
ご使用期間	消費税等相当額(再掲)	383 円
6月9日~7月10日		
払込人氏名	小林 正人 様	
お客さま番号	日 程	
3426348051630	08	

お支払いが 8月 1日を超えますと速収料金(早収料金の3%増し)と早収料金との差額を翌月以降の料金に加算させていただきます。

この振込用紙は 8月30日まで有効期限内でございます。有効期限を過ぎた場合のお支払いは中部電力の担当営業所にお問い合わせください。

中部電力株式会社 総務営業所
TEL0120-985-342
(携帯電話・PHSからもご利用いただけます。)

電気料金等払込受領証(領収証)

平成23年 6月分	金額	6,236 円
ご使用期間	消費税等相当額(再掲)	296 円
5月12日~6月8日		
払込人氏名	小林 正人 様	
お客さま番号	日 程	
3426348051630	08	

お支払いが 6月29日を超えますと速収料金(早収料金の3%増し)と早収料金との差額を翌月以降の料金に加算させていただきます。

この振込用紙は 7月29日まで有効期限内でございます。有効期限を過ぎた場合のお支払いは中部電力の担当営業所にお問い合わせください。

中部電力株式会社 総務営業所
TEL0120-985-342
(携帯電話・PHSからもご利用いただけます。)

電気料金等払込受領証(領収証)

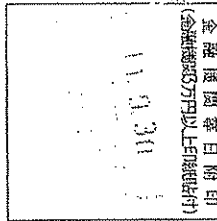
平成23年 5月分	金額	7,218 円
ご使用期間	消費税等相当額(再掲)	343 円
4月11日~5月11日		
払込人氏名	小林 正人 様	
お客さま番号	日 程	
3426348051630	08	

お支払いが 6月 1日を超えますと速収料金(早収料金の3%増し)と早収料金との差額を翌月以降の料金に加算させていただきます。

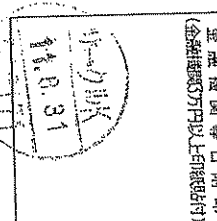
この振込用紙は 7月 1日まで有効期限内でございます。有効期限を過ぎた場合のお支払いは中部電力の担当営業所にお問い合わせください。

中部電力株式会社 総務営業所
TEL0120-985-342
(携帯電話・PHSからもご利用いただけます。)

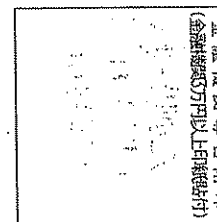
※本証により
集金すること
は
ありません。



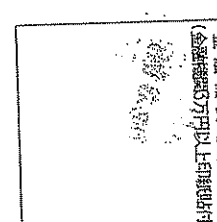
※本証により
集金すること
は
ありません。



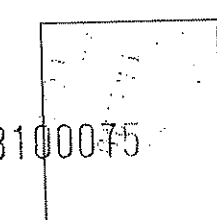
※本証により
集金すること
は
ありません。



※本証により
集金すること
は
ありません。



※本証により
集金すること
は
ありません。



電気料金等払込受領証(領収証)

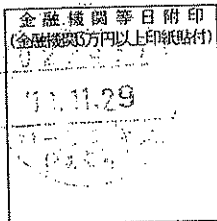
平成23年11月分	金額	5,680 円
ご使用期間	消費税等相当額(再掲)	270 円
10月12日~11月9日		
払込人氏名	小林 正人 様	
お客さま番号	日 程	
3426348051630	08	

お支払いが 11月30日を超えますと速収料金(早収料金の3%増し)と早収料金との差額を翌月以降の料金に加算させていただきます。

この振込用紙は 12月30日まで有効期限内でございます。有効期限を過ぎた場合のお支払いは中部電力の担当営業所にお問い合わせください。

中部電力株式会社 総務営業所
TEL0120-985-342
(携帯電話・PHSからもご利用いただけます。)

※本証により
集金すること
は
ありません。



電気料金等払込受領証(領収証)

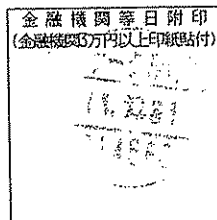
平成23年10月分	金額	6,661 円
ご使用期間	消費税等相当額(再掲)	316 円
9月9日~10月11日		
払込人氏名	小林 正人 様	
お客さま番号	日 程	
3426348051630	08	

お支払いが 11月 1日を超えますと速収料金(早収料金の3%増し)と早収料金との差額を翌月以降の料金に加算させていただきます。

この振込用紙は 12月 1日まで有効期限内でございます。有効期限を過ぎた場合のお支払いは中部電力の担当営業所にお問い合わせください。

中部電力株式会社 総務営業所
TEL0120-985-342
(携帯電話・PHSからもご利用いただけます。)

※本証により
集金すること
は
ありません。



切り取らないで金融機関やコンビニエンスストアにお出しください。

切り取らないで金融機関やコンビニエンスストアにお出しください。

(事務所責) 電気料金

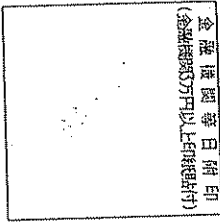
23100075

電気料金等払込受領証 (領収証)

平成24年 3月分	金額	10,674 円
ご 使 用 期 間	消費税率相当額(円税)	
2月 9日~ 3月 8日		508 円
私 込 込 人 氏 名 小林 正人 様		
お 客 さま 番 号	日 程	
3426348051630	08	
お支払いが 3月29日を超えますと速収料金 (早収料金の3%増し) と早収料金との差額を翌月以降の料金に加算させていただきます。		
この振込用紙は 5月 1日までが有効期限でございます。有効期限を過ぎた場合のお支払いは中部電力の担当営業所にお問い合わせください。		

中部電力株式会社 総務営業所
TEL0120-985-342
(携帯電話・PHSからもご利用いただけます。)

※ 本証により
集金することは
ありません。

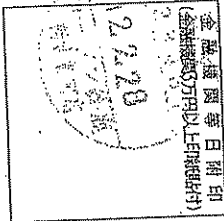


電気料金等払込受領証 (領収証)

平成24年 2月分	金額	9,610 円
ご 使 用 期 間	消費税率相当額(円税)	
1月12日~ 2月 8日		457 円
私 込 込 人 氏 名 小林 正人 様		
お 客 さま 番 号	日 程	
3426348051630	08	
お支払いが 2月29日を超えますと速収料金 (早収料金の3%増し) と早収料金との差額を翌月以降の料金に加算させていただきます。		
この振込用紙は 3月30日までが有効期限でございます。有効期限を過ぎた場合のお支払いは中部電力の担当営業所にお問い合わせください。		

中部電力株式会社 総務営業所
TEL0120-985-342
(携帯電話・PHSからもご利用いただけます。)

※ 本証により
集金することは
ありません。

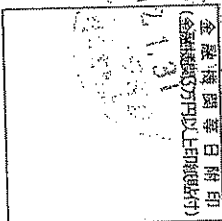


電気料金等払込受領証 (領収証)

平成24年 1月分	金額	8,045 円
ご 使 用 期 間	消費税率相当額(円税)	
12月 9日~ 1月11日		383 円
私 込 込 人 氏 名 小林 正人 様		
お 客 さま 番 号	日 程	
3426348051630	08	
お支払いが 2月 1日を超えますと速収料金 (早収料金の3%増し) と早収料金との差額を翌月以降の料金に加算させていただきます。		
この振込用紙は 3月 2日までが有効期限でございます。有効期限を過ぎた場合のお支払いは中部電力の担当営業所にお問い合わせください。		

中部電力株式会社 総務営業所
TEL0120-985-342
(携帯電話・PHSからもご利用いただけます。)

※ 本証により
集金することは
ありません。

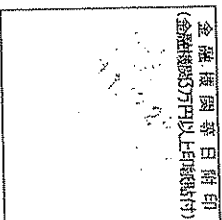


電気料金等払込受領証 (領収証)

平成23年 12月分	金額	7,181 円
ご 使 用 期 間	消費税率相当額(円税)	
11月10日~12月 8日		341 円
私 込 込 人 氏 名 小林 正人 様		
お 客 さま 番 号	日 程	
3426348051630	08	
お支払いが 12月29日を超えますと速収料金 (早収料金の3%増し) と早収料金との差額を翌月以降の料金に加算させていただきます。		
この振込用紙は 1月30日までが有効期限でございます。有効期限を過ぎた場合のお支払いは中部電力の担当営業所にお問い合わせください。		

中部電力株式会社 総務営業所
TEL0120-985-342
(携帯電話・PHSからもご利用いただけます。)

※ 本証により
集金することは
ありません。



23100076

事 務 費

23100077

政務調査費入力

個人分

日付	平成 23 年 05 月 30 日		
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務費	支出科目 通信運搬費	
使途用途	用途1 電話料金		70382 円
	用途2		0 円
	用途3		0 円
	用途4		0 円
	用途5		0 円
支出金額	使途用途合計	70382 × 50% =	35191 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分		

23100078

政務調査費入力

個人分

日付	平成 23 年 06 月 30 日		
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務費	支出科目 通信運搬費	
使途用途	用途1 電話料金		17251 円
	用途2		0 円
	用途3		0 円
	用途4		0 円
	用途5		0 円
支出金額	使途用途合計	17251 × 50% =	8625 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分		

23100079

政務調査費入力

個人分

日付	平成 23 年 07 月 29 日			
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務費	支出科目 通信運搬費		
使途用途	用途1 電話料金			18137 円
	用途2			0 円
	用途3			0 円
	用途4			0 円
	用途5			0 円
支出金額	使途用途合計	18137	× 50% =	9068 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分			

23100080

政務調査費入力

個人分

日付	平成 23 年 08 月 31 日			
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務費	支出科目 通信運搬費		
使途用途	用途1 電話料金			21383 円
	用途2			0 円
	用途3			0 円
	用途4			0 円
	用途5			0 円
支出金額	使途用途合計	21383	× 50% =	10691 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分			

23100081

政務調査費入力

個人分

日付	平成 23 年 09 月 30 日				
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務費		支出科目 通信運搬費		
使途用途	用途1	電話料金			10722 円
	用途2				0 円
	用途3				0 円
	用途4				0 円
	用途5				0 円
支出金額	使途用途合計	10722	×	50%	= 5361 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分				

23100082

政務調査費入力

個人分

日付	平成 23 年 10 月 31 日			
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務費	支出科目 通信運搬費		
使途用途	用途1 電話料金			2832 円
	用途2			0 円
	用途3			0 円
	用途4			0 円
	用途5			0 円
支出金額	使途用途合計	2832	× 50% =	1416 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分			

23100086

政務調査費入力

個人分

日付	平成 23 年 11 月 29 日			
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務費	支出科目 通信運搬費		
使途用途	用途1 電話料金			19652 円
	用途2			0 円
	用途3			0 円
	用途4			0 円
	用途5			0 円
支出金額	使途用途合計	19652	× 50% =	9826 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分			

23100084

政務調査費入力

個人分

日付	平成 23 年 12 月 29 日			
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務費	支出科目 通信運搬費		
使途用途	用途1 電話料金			14574 円
	用途2			0 円
	用途3			0 円
	用途4			0 円
	用途5			0 円
支出金額	使途用途合計	14574	× 50% =	7287 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分			

23100085

政務調査費入力

個人分

日付	平成 24 年 01 月 31 日				
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務費	支出科目 通信運搬費			
使途用途	用途1 電話料金	15882 円			
	用途2	0 円			
	用途3	0 円			
	用途4	0 円			
	用途5	0 円			
支出金額	使途用途合計	15882	×	50%	= 7941 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分				

23100086

政務調査費入力

個人分

日付	平成 24 年 02 月 28 日				
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務費	支出科目 通信運搬費			
使途用途	用途1 電話料金	14952 円			
	用途2	0 円			
	用途3	0 円			
	用途4	0 円			
	用途5	0 円			
支出金額	使途用途合計	14952	×	50%	= 7476 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分				

政務調査費入力

個人分

日付	平成 24 年 03 月 29 日			
使途項目 及び 支出科目	使途項目 事務費	支出科目 通信運搬費		
使途用途	用途1 電話料金			17623 円
	用途2			0 円
	用途3			0 円
	用途4			0 円
	用途5			0 円
支出金額	使途用途合計	17623	× 50% =	8811 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分			

23100088

(事務費) 電話料金

電話料金等領収証 (Receipt)

お客様番号
(059)370-5333
ご請求番号
8035895314957
お客様氏名
小林 正人 様

金額
平成 24 年 3 月分
¥17,623
うち、消費税等
832円

西日本電信電話株式会社
三重支店
お客様からの
料金お問合せ先 (無料)
0120-159424

領収日付印
収入印紙貼付欄
(お客様)

電話料金等領収証 (Receipt)

お客様番号
(059)370-5333
ご請求番号
7015195113747
お客様氏名
小林 正人 様

金額
平成 24 年 2 月分
¥14,952
うち、消費税等
710円

西日本電信電話株式会社
三重支店
お客様からの
料金お問合せ先 (無料)
0120-159424

領収日付印
収入印紙貼付欄
(お客様)

電話料金等領収証 (Receipt)

お客様番号
(059)370-5333
ご請求番号
5085594912539
お客様氏名
小林 正人 様

金額
平成 24 年 1 月分
¥15,882
うち、消費税等
753円

西日本電信電話株式会社
三重支店
お客様からの
料金お問合せ先 (無料)
0120-159424

領収日付印
収入印紙貼付欄
(お客様)

領収証 (Receipt)

お客様番号
(059)370-5333
ご請求番号
4055995113117
お客様氏名
小林 正人 様

金額
平成 23 年 12 月分
¥14,574
うち、消費税等
691円

西日本電信電話株式会社
三重支店
お客様からの
料金お問合せ先 (無料)
0120-159424

領収日付印
収入印紙貼付欄
(お客様)

領収日付印
収入印紙貼付欄
(お客様)

領収証 (Receipt)
お客様番号
(059)370-5333
ご請求番号
3035194911999
お客様氏名
小林 正人 様
金額
平成 23 年 11 月分
¥19,652
うち、消費税等
933円
西日本電信電話株式会社
三重支店
お客様からの
料金お問合せ先 (無料)
0120-159424

領収日付印
収入印紙貼付欄
(お客様)

領収証 (Receipt)
お客様番号
(059)370-5511
ご請求番号
2005294711061
お客様氏名
小林正人事務所 様
金額
平成 23 年 10 月分
¥2,832
うち、消費税等
134円
西日本電信電話株式会社
三重支店
お客様からの
料金お問合せ先 (無料)
0120-159424

領収日付印
収入印紙貼付欄
(お客様)

領収証 (Receipt)
お客様番号
(059)370-5333
ご請求番号
9075296319750
お客様氏名
小林 正人 様
金額
平成 23 年 9 月分
¥10,722
うち、消費税等
509円
西日本電信電話株式会社
三重支店
お客様からの
料金お問合せ先 (無料)
0120-159424

領収日付印
収入印紙貼付欄
(お客様)

領収証 (Receipt)
お客様番号
(059)370-5333
ご請求番号
4055596118629
お客様氏名
小林 正人 様
金額
平成 23 年 8 月分
¥21,383
うち、消費税等
1,016円
西日本電信電話株式会社
三重支店
お客様からの
料金お問合せ先 (無料)
0120-159424

領収日付印
収入印紙貼付欄
(お客様)

領収証 (Receipt)
お客様番号
(059)370-5333
ご請求番号
3025795917510
お客様氏名
小林 正人 様
金額
平成 23 年 7 月分
¥18,187
うち、消費税等
863円
西日本電信電話株式会社
三重支店
お客様からの
料金お問合せ先 (無料)
0120-159424

領収日付印
収入印紙貼付欄
(お客様)

領収証 (Receipt)
お客様番号
(059)370-5333
ご請求番号
1095895716393
お客様氏名
小林 正人 様
金額
平成 23 年 6 月分
¥17,251
うち、消費税等
807円
西日本電信電話株式会社
三重支店
お客様からの
料金お問合せ先 (無料)
0120-159424

領収日付印
収入印紙貼付欄
(お客様)

領収証 (Receipt)
お客様番号
(059)370-5333
ご請求番号
9065895515278
お客様氏名
小林 正人 様
金額
平成 23 年 5 月分
¥70,382
うち、消費税等
3,345円
西日本電信電話株式会社
三重支店
お客様からの
料金お問合せ先 (無料)
0120-159424

人 件 費

23100090

政務調査費入力

個人分

日付	平成 23 年 05 月 30 日			
使途項目 及び 支出科目	使途項目 人件費	支出科目 人件費		
使途用途	用途1 事務員	67000 円		
	用途2	0 円		
	用途3	0 円		
	用途4	0 円		
	用途5	0 円		
支出金額	使途用途合計	67000	× 50% =	33500 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分			

23100091

政務調査費入力

個人分

日付	平成 23 年 06 月 30 日		
使途項目 及び 支出科目	使途項目 人件費	支出科目 人件費	
使途用途	用途1 事務員	67000 円	
	用途2	0 円	
	用途3	0 円	
	用途4	0 円	
	用途5	0 円	
支出金額	使途用途合計	67000 × 50% =	33500 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分		

23100092

政務調査費入力

個人分

日付	平成 23 年 07 月 29 日		
使途項目 及び 支出科目	使途項目 人件費	支出科目 人件費	
使途用途	用途1 事務員		67000 円
	用途2		0 円
	用途3		0 円
	用途4		0 円
	用途5		0 円
支出金額	使途用途合計	67000 × 50% =	33500 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分		

23100093

政務調査費入力

個人分

日付	平成 23 年 08 月 31 日			
使途項目 及び 支出科目	使途項目 人件費	支出科目 人件費		
使途用途	用途1 事務員	67000 円		
	用途2	0 円		
	用途3	0 円		
	用途4	0 円		
	用途5	0 円		
支出金額	使途用途合計	67000	× 50% =	33500 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分			

23100094

政務調査費入力

個人分

日付	平成 23 年 09 月 30 日		
使途項目 及び 支出科目	使途項目 人件費	支出科目 人件費	
使途用途	用途1 事務員		67000 円
	用途2		0 円
	用途3		0 円
	用途4		0 円
	用途5		0 円
支出金額	使途用途合計	67000 × 50% =	33500 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分		

23100095

政務調査費入力

個人分

日付	平成 23 年 10 月 31 日			
使途項目 及び 支出科目	使途項目 人件費	支出科目 人件費		
使途用途	用途1 事務員			67000 円
	用途2			0 円
	用途3			0 円
	用途4			0 円
	用途5			0 円
支出金額	使途用途合計	67000	× 50% =	33500 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分			

23100096

政務調査費入力

個人分

日付	平成 23 年 11 月 29 日		
使途項目 及び 支出科目	使途項目 人件費	支出科目 人件費	
使途用途	用途1 事務員		67000 円
	用途2		0 円
	用途3		0 円
	用途4		0 円
	用途5		0 円
支出金額	使途用途合計	67000 × 50% =	33500 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分		

23100097

政務調査費入力

個人分

日付	平成 23 年 12 月 29 日			
使途項目 及び 支出科目	使途項目 人件費	支出科目 人件費		
使途用途	用途1 事務員			67000 円
	用途2			0 円
	用途3			0 円
	用途4			0 円
	用途5			0 円
支出金額	使途用途合計	67000	× 50% =	33500 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分			

23100098

政務調査費入力

個人分

日付	平成 24 年 01 月 31 日		
使途項目 及び 支出科目	使途項目 人件費	支出科目 人件費	
使途用途	用途1 事務員		67000 円
	用途2		0 円
	用途3		0 円
	用途4		0 円
	用途5		0 円
支出金額	使途用途合計	67000 × 50% =	33500 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分		

23100099

政務調査費入力

個人分

日付	平成 24 年 02 月 28 日			
使途項目 及び 支出科目	使途項目 人件費	支出科目 人件費		
使途用途	用途1 事務員	67000 円		
	用途2	0 円		
	用途3	0 円		
	用途4	0 円		
	用途5	0 円		
支出金額	使途用途合計	67000	×	50% = 33500 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分			

23100100

政務調査費入力

個人分

日付	平成 24 年 03 月 29 日			
使途項目 及び 支出科目	使途項目 人件費	支出科目 人件費		
使途用途	用途1 事務員			67000 円
	用途2			0 円
	用途3			0 円
	用途4			0 円
	用途5			0 円
支出金額	使途用途合計	67000	× 50% =	33500 円
根拠	自民党鈴鹿第二支部との按分			

23100101

(人件費)

領 収 証 小林正人 事務所 様 No. _____

金 額				4	6	7	0	0	0	
-----	--	--	--	---	---	---	---	---	---	--

但 アリババ 代

内 訳	
現 金	
小 切 手	/
手 形	/
消費税額等(%)	

平成23年 5 月 20 日 上記正に領収いたしました

収入印紙

領収証 No.7

領 収 証 小林正人 事務所 様 No. _____

金 額				4	6	7	0	0	0	
-----	--	--	--	---	---	---	---	---	---	--

但 アリババ 代

内 訳	
現 金	
小 切 手	/
手 形	/
消費税額等(%)	

平成23年 6 月 30 日 上記正に領収いたしました

収入印紙

領収証 No.7

23100102

領 収 証 小林正人 事務所 様 No. _____

金 額				4	6	7	0	0	0	
-----	--	--	--	---	---	---	---	---	---	--

但 アルバイト代

内 訳
現 金 平成23年 7 月 29 日 上記正に領収いたしました
小 切 手 /
手 形 /

収入印紙

消費税額等 (%)

領収証 No.7

領 収 証 小林正人 事務所 様 No. _____

金 額				4	6	7	0	0	0	
-----	--	--	--	---	---	---	---	---	---	--

但 アルバイト代

内 訳
現 金 平成23年 8 月 31 日 上記正に領収いたしました
小 切 手 /
手 形 /

収入印紙

消費税額等 (%)

領収証 No.7

領 収 証 小林正人 事務所 様 No. _____

金 額				4	6	7	0	0	0	
-----	--	--	--	---	---	---	---	---	---	--

但 アルバイト代

内 訳
現 金 平成23年 9 月 30 日 上記正に領収いたしました
小 切 手 /
手 形 /

収入印紙

消費税額等 (%)

23100103

領収証 No.7

領 収 証 小林正人 事務所 様 No. _____

金 額

4 6 7 0 0 0

但 アルバイト代

内 訳

現 金

平成23年 10 月 31 日 上記正に領収いたしました

小 切 手

手 形

収入印紙

消費税額等(%)

領収証 No.7

領 収 証 小林正人 事務所 様 No. _____

金 額

4 6 7 0 0 0

但 アルバイト代

内 訳

現 金

平成23年 11 月 29 日 上記正に領収いたしました

小 切 手

手 形

収入印紙

消費税額等(%)

領収証 No.7

領 収 証 小林正人 事務所 様 No. _____

金 額

4 6 7 0 0 0

但 アルバイト代

内 訳

現 金

平成23年 12 月 29 日 上記正に領収いたしました

小 切 手

手 形

収入印紙

消費税額等(%)

領収証 No.7

23100104

領 収 証 小林正人 事務所 様 No. _____

金 額							
			4	6	7	0	0

但 アルバイト代

内 訳	
現 金	
小 切 手	/
手 形	/
消費税額等(%)	

平成24年 1月 31日 上記正に領収いたしました

収入印紙

領収証 No.7

領 収 証 小林正人 事務所 様 No. _____

金 額							
			4	6	7	0	0

但 アルバイト代

内 訳	
現 金	
小 切 手	/
手 形	/
消費税額等(%)	

平成24年 2月 28日 上記正に領収いたしました

収入印紙

領収証 No.7

領 収 証 小林正人 事務所 様 No. _____

金 額							
			4	6	7	0	0

但 アルバイト代

内 訳	
現 金	
小 切 手	/
手 形	/
消費税額等(%)	

平成24年 3月 29日 上記正に領収いたしました

収入印紙

23100105

領収証 No.7

雇 用 契 約 書

氏 名	生年月日
現住所	
電話番号	緊急時の連絡先

下記条件にて契約と致します。

雇 用 期 間	平成 23 年 5 月 / 日 から 平成 24 年 3 月 3 / 日
就 業 場 所	三重県鈴鹿市箕所町 1240 小村 正人 事務所
職 務 内 容	事務全般、議員政務調査等に係る補助的業務。
就 業 時 間	1日、5h / 1週 4日 9:00 ~ 14:00 月、火、木、金
休 日	毎週、水曜、土曜、日曜日
給 与 (賃金)	月 給 67,000 (交通費) 円 (時 給 円)
給 与 支 払	日締切 月末 日支払
給与払込先	普通預金 銀行 支店 (口座番号) (名義)
上記契約期間満了をもって本契約を解消する。	

※契約書は2通作成し、双方が各1通を保管する。

平成 20 年 4 月 / 日

雇用者

氏名 小村 正人

被雇用者

氏名

23100106